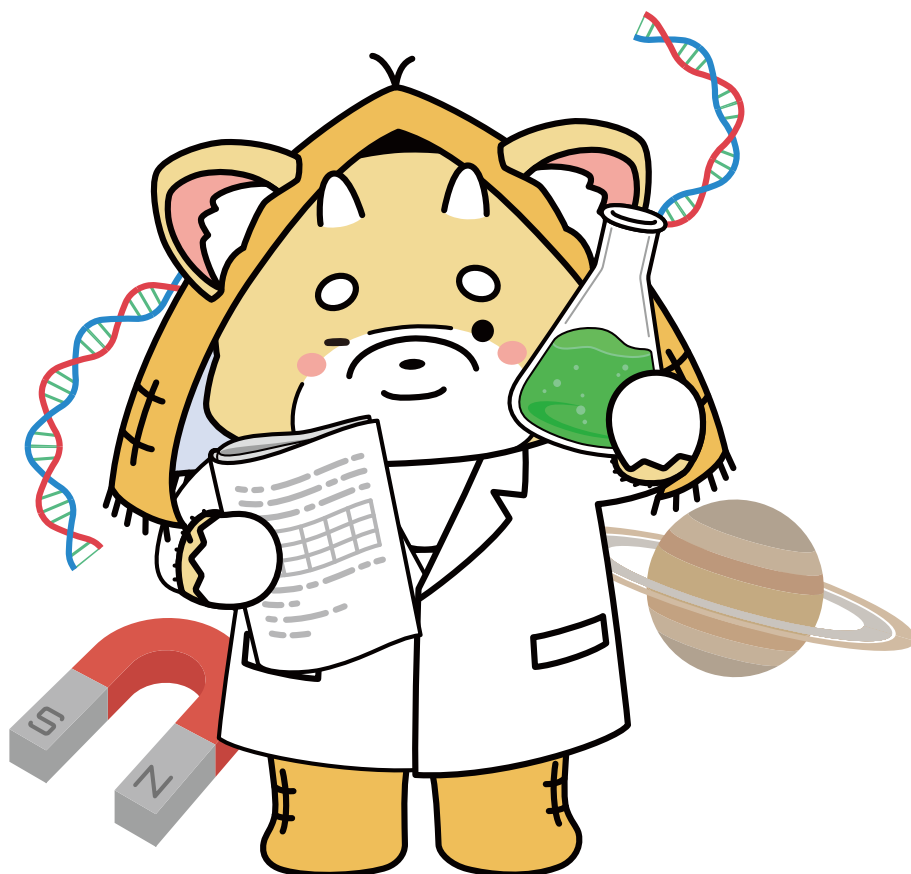




第50回全国高等学校総合文化祭

あきた総文2026

自然科学部門 実施要領



大会マスコットキャラクター
「あきたぼ」

開催期間：令和8年7月29日（水）～7月31日（金）

主会場：生涯学習センター、県児童会館、
秋田県JABビル、さがけホール



目次

大会概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
記念講演講師紹介・・・・・・・・・・	4
審査委員紹介・・・・・・・・・・	5
大会役員一覧・諸会議・・・・・・・・	6
式次第・・・・・・・・・・・・・・・・	7
発表・審査・表彰について・・・・・・・・	9
発表に関する留意事項・・・・・・・・	10
全国高等学校総合文化祭自然科学部門 審査および表彰規程・・・・・・・・	12
参加者受付に関する留意事項、おもてなし弁当に関する 留意事項、救急体制・・・・・・・・	13
一般観覧の事前申込について／その他・・・・・・・・	14
発表校一覧・・・・・・・・・・・・・・・・	15
発表プログラム・・・・・・・・・・	16
巡検研修・・・・・・・・・・・・・・・・	28
会場案内図・・・・・・・・・・	49
周辺地図、問い合わせ先・・・・・・・・	54
緊急時の対応などについて・・・・・・・・	55
個人情報の取り扱いについて・・・・・・・・	59

大会概要

秋田県生涯学習センター（7月29日～31日）

（所在地 〒010-0955 秋田市山王中島町1-1 TEL 018-865-1171）

秋田県JAビル（7月29日～30日）

（所在地 〒010-0976 秋田市八橋南二丁目10-16 TEL 018-864-2050）

さきがけホール（7月29日～30日）

（所在地 〒010-0956 秋田市山王臨海町1-1 秋田魁新報社1F TEL 018-888-1929）

秋田県児童会館子ども劇場けやきシアター（7月29日開会式・7月31日閉会式）

（所在地 〒010-0955 秋田市山王中島町1-2 TEL 018-865-1161）

【第1日目】7月29日(水) 11:50～18:00	
10:00～11:40	受付
～11:30	研究発表動作確認、ポスター掲示
10:00～13:00	おもてなし弁当配付
11:50～12:30	開会式
13:00～18:00	研究発表・ポスター発表
【第2日目】7月30日(木) 9:00～18:30	
8:00～ 8:55 (JAビル)	研究発表会場への入室
8:30～ 9:10 (生涯セ)	研究発表会場への入室
8:30～ 8:55	ポスター発表会場への入場
9:00～11:50	研究発表・ポスター発表
10:00～13:00	おもてなし弁当配付
12:45～18:30	巡検研修（開始・終了時刻はコースにより異なる）
【第3日目】7月31日(金) 8:45～12:50	
8:00～ 8:40	入場開始、荷物預かり
8:45～ 9:45	生徒交流会・次年度開催県PR
10:05～11:20	記念講演
11:40～12:50	閉会式

※各会場へ持ち込んだゴミはお持ち帰りください。

※各会場の駐車場の利用は一切できません。

※JAビルには民間のテナントが多数入っています。建物内ではお静かにお願いします。

※7月31日（金）はおもてなし弁当の配付はありません。

※7月31日（金）は控室、昼食会場はありません。ゴミはお持ち帰りください。

内 容	会 場
参加者受付	各発表会場
総合案内 来賓・報道受付	秋田県生涯学習センター３Ｆロビー
一般観覧者（事前申込）受付	各発表会場
弁当受取場所	生涯学習センター３Ｆおよび秋田県ＪＡビル９Ｆ
開会式	秋田県児童会館けやきシアター
研究発表 物理分野	秋田県ＪＡビル
研究発表 化学分野	秋田県ＪＡビル
研究発表 生物分野	秋田県ＪＡビル
研究発表 地学分野	秋田県生涯学習センター
ポスター発表	さきがけホール
救護室	秋田県ＪＡビル内および秋田県生涯学習センター内
大会本部	秋田県生涯学習センター内
参加者控室 ※7/30（木）13:30 まで	研究発表 各発表会場 ポスター さきがけホールセミナールーム 秋田県ＪＡビル９Ｆ大ホール後方
昼食会場	研究発表：各研究発表会場 ポスター発表：秋田県ＪＡビル９Ｆ大ホール後方
更衣室 ※7/30（木）12:00～13:15	必要に応じて設置
巡検バス集合場所	生涯学習センター共同駐車場、秋田県ＪＡビル駐車場
生徒交流会 記念講演 閉会式	秋田県児童会館けやきシアター

巡検研修

コース一覧

	コース名・巡検研修先
A	「水をきれいに、風を電気に」 東北環境管理株式会社・秋田洋上風力発電株式会社（秋田市）
B	「鉱物に学ぶ地球の過去・未来」 秋田大学国際資源学部・秋田大学鉱業博物館（秋田市）
C	「秋田の地質・環境・生物・文化をまとめて体感」 秋田県立博物館（秋田市）
D	「氷の大陸の夢と、未来のテクノロジー」 白瀬南極探検記念館・TDK歴史みらい館（にかほ市）
E	「ロケットとエネルギーの最前線へ」 JAXA能代ロケット試験場・能代エナジウムパーク（能代市）
F	「世界自然遺産の価値を学ぶ」 白神山地世界遺産センター（藤里町）
G	「あきたの森から学ぶ！カーボンニュートラル」 秋田県林業研究研修センター（秋田市）

H	「学んで備える、防災の第一歩」 秋田県防災学習館（由利本荘市）
I	「海から広がる食と科学」 男鹿海洋高校・風と海の学校あきた（男鹿市）
J	「エネルギー安定供給の裏側を学ぶ」 秋田石油備蓄株式会社（男鹿市）
K	「星空の旅へ」 星空探検館スペース（横手市）
L	「見えない敵から健康を守る」 秋田県健康環境センター（秋田市）
M	「7,000 万年前から始まる大地の物語」 男鹿半島・大潟ジオパーク（地形学習コース）（男鹿市）
N	「火山と様々な火山地形を楽しもう」 男鹿半島・大潟ジオパーク（火山学習コース）（男鹿市）
O	「湖底から誕生した新生の大地」 男鹿半島・大潟ジオパーク（大潟村学習コース）（大潟村）
P	「食と技術の研究現場へ」 秋田県総合食品センター・秋田県産業技術センター（秋田市）
Q	「天気予報の舞台裏へ」 秋田地方気象台（秋田市）
R	「ダムから学ぶ防災とエネルギー」 玉川ダム（仙北市）
S	「病理の世界へようこそ」 株式会社秋田病理組織細胞診研究センター（秋田市）
T	「奇跡の再発見から学ぶ」 田沢湖クニマス未来館（仙北市）
U	「太陽と資源で未来を作る」 あきた次世代エネルギーパーク（秋田市総合環境センター）（秋田市）

バス出発時間（予定）

乗車場所（予定）

12:45	D, F, K, M, R, T コース	A～H コース：秋田県 J A ビル 駐車場
13:00	A, E, I, N コース	I～U コース：秋田県生涯学習センター
13:15	G, J, O, S コース	共同駐車場
13:30	B, C, H, L, P, Q, U コース	※Q コースは徒歩出発時間

- ・時間厳守でお集まりください。集合に遅れると参加できない可能性があります。
- ・生徒のみでの参加はできません。必ず各校で引率をお願いします。
- ・荷物は全て巡検研修にご持参ください。発表会場に置いておくことはできません。

生徒交流会

全国から集まった皆さんが楽しく交流できる会を企画しています。生徒実行委員の私たちも、皆さんと交流できることを心待ちにしています。記憶に残る楽しい交流会にしましょう！

記念講演講師紹介

日 時 令和8年7月31日(金) 10:05~11:20

会 場 秋田県児童会館 けやきシアター

講 師 林 信太郎 氏

演 題 「キッチンで作る噴火現象—そして科学の伝え方」



【講師プロフィール】

秋田大学 名誉教授

1956年北海道苫小牧市生まれ。1980年北海道大学理学部卒業。1985年東北大学大学院理学研究科博士課程（地学専攻）修了。理学博士。1985年から秋田大学に勤務し、教育学部、教育文化学部、大学院教育学研究科の教授として長年にわたり教育と研究に尽力し、2022年退職。また、2014年4月から2017年3月まで、秋田大学教育文化学部附属小学校校長を兼任。地球惑星科学連合、日本火山学会などで活動する。専門は火山学で、噴火の仕組みや溶岩ドームの形成などを研究する一方、「キッチン火山実験」といった身近な素材を使ったユニークな科学教育活動でも知られている。特に子どもたちへの理科教育や、市民向けの防災講座に力を注ぎ、地域との連携も積極的に行ってきた。著書『世界—おいしい火山の本』は、読書感想文コンクールの課題図書にも選ばれ、多くの読者に科学の楽しさを伝えた。また、2017年から複数回NHK総合テレビ「ブラタモリ」に出演し、案内役として火山が織り成す地形や岩石の特徴を解説したり、火山学・地質学の専門知識を身近な食や生活と結びつけたりして紹介するスタイルが好評を博した。近年は、鳥海山など秋田県内の火山に関する研究・講演活動も展開している。研究者としての探究心と、教育者としての情熱を併せ持ち、専門知識を社会に還元する姿勢が高く評価されている。

著書に上記の他、『ジオパークへ行こう!』、『知っておきたい 日本の火山図鑑』、『秋田の火山学者・林信太郎先生が語る 地球の不思議』、『林信太郎先生とDr.ナダレンジャーの火山と地震の実験図鑑』などがある。

【高校生へのメッセージ】

火山噴火はたいへんこわい現象です。場合によっては何万人もの人々が1回の噴火でなくなったりします。これをどう伝えたらいいのでしょうか？

たとえば噴火が「こわい、おそろしい」とだけ伝えると、たいていは拒否反応がやってきます。こわいことにはあまり目を向けたくないの、受容をやめてしまうんですね。

そこで私が開発したのが「キッチン火山実験」。キッチンにある普通の材料で火山噴火を再現します。キッチン火山実験のいいところは二つ。1) 現象が小さいのでこわくない、2) チョコレートを使ったりしてとっても楽しい！

火山噴火は、それに対する知識があるかないかで生存の可能性が変わってきます。火山噴火について知っているとずっと助かる可能性が高くなります。例えば噴石という現象があります。重い石がプロ野球選手の投げるストレートの二倍の速度で飛んでくることがあると知っていれば、すぐに岩陰に隠れるという行動がとれます。

火山学者である私は火山の知識の伝え方についてもいろいろと工夫してきました。今回の講演では、このキッチン火山実験と、どうやって目の前の相手—例えば幼稚園児とか小学生—に科学の知識を伝えるのか、私の開発した実験と工夫についてお話ししていきたいと思います。

審査委員紹介

審査区分		氏 名	所属・役職
研究発表	物理分野	林 正彦	秋田大学 教授 ※審査委員長
		松本 真一	秋田県立大学 教授
		赤坂 俊彦	秋田県立平成高等学校 校長
		小林 吉則	秋田市立御所野学院高等学校 非常勤講師
	化学分野	清野 秀岳	秋田大学 准教授
		水野 幸一	秋田県立大学 教授
		川村 幸生	秋田県立秋田北鷹高等学校 教諭
		田口 峰子	秋田県総合教育センター指導主事
	生物分野	石井 照久	秋田大学 教授
		山口 誠之	秋田県立大学 教授
		大沼 克彦	秋田県立大曲農業高等学校 教諭
		佐々木 均	(元)秋田県立横手高等学校 校長
	地学分野	本谷 研	秋田大学 准教授
		田口 瑞穂	秋田大学 准教授
		阿部 雅彦	秋田県立本荘高等学校 教諭
		柿崎 仁志	(元)秋田県農業科学館 館長
ポスター発表		本間 道則	秋田県立大学 准教授
		高階 史章	秋田県立大学 准教授
		神田 啓臣	秋田県立大学 准教授
		千代延 俊	秋田大学 教授 秋田大学附属図書館 館長
		西畑 栄子	智辯学園和歌山高等学校 教諭
		菅原 佑介	宮城県仙台第三高等学校 教諭
		入江 壽朗	山口県立山口高等学校 教諭
		荒川 忠彦	(元)滋賀県立膳所高等学校 教諭

大会役員一覧・諸会議

【大会役員一覧】

公益社団法人全国高等学校文化連盟正会員 高等学校文化連盟全国自然科学専門部

会 長	山田島崇文	鹿児島県立錦江湾高等学校 校長 (第50回全国高等学校総合文化祭自然科学部門委員長)
副 会 長	池田 達治	香川県立津田高等学校 校長
副 会 長	竹村 竜祥	秋田県立角館高等学校 校長
副 会 長	島崎 康一	石川県立穴水高等学校 校長
副 会 長	梅田 憲和	山口県立山口高等学校 校長
事務局長	大迫 武治	鹿児島県立錦江湾高等学校 教諭

第50回全国高等学校総合文化祭秋田県実行委員会自然科学部門

部 会 長	竹村 竜祥	秋田県立角館高等学校 校長
代表委員	牧野 浩樹	秋田県立角館高等学校 教諭

【諸会議】

常任理事会

日時 令和8年7月28日(火) 15:00～17:00

場所 秋田県J Aビル8F小会議室

理事会・総会

日時 令和8年7月31日(金) 9:00～11:20

場所 秋田県生涯学習センター4F第1研修室

式次第

【開会式】

日時 令和8年7月29日(水) 11:50～12:30

場所 秋田県児童会館子ども劇場けやきシアター

式次第	担 当
1 開会宣言	第50回全国高等学校総合文化祭秋田県実行委員会 自然科学部門 生徒部門別部会
2 高等学校文化連盟 全国自然科学専門部会長 挨拶	山田島 崇文 (鹿児島県立錦江湾高等学校 校長)
3 歓迎の言葉	秋田市長 沼谷 純
4 第50回全国高等学校総合文化 祭秋田県実行委員会自然科学部 門 生徒部門別部会長 挨拶	原 琉樹 (秋田県立新屋高等学校)
5 来賓・審査委員紹介	第50回全国高等学校総合文化祭秋田県実行委員会 自然科学部門 生徒部門別部会
6 閉会宣言	第50回全国高等学校総合文化祭秋田県実行委員会 自然科学部門 生徒部門別部会

【開会式に関する留意事項】

- ・本大会の開会式は参加者全員が開会式会場に入ります。インターネット配信は行いません。
- ・開会式会場内では、誘導係の生徒の指示に従い指定された座席に着席してください。
- ・開会式終了後、参加者は誘導係の指示に従い各配信会場へ移動します。

【表彰式・閉会式】

日時 令和8年7月31日(金) 11:40～12:50

場所 秋田県児童会館子ども劇場けやきシアター

式次第	担 当
1 開会宣言	第50回全国高等学校総合文化祭秋田県実行委員会 自然科学部門 生徒部門別部会
2 審査結果発表	第50回全国高等学校総合文化祭秋田県実行委員会 自然科学部門 代表委員 牧野 浩樹
3 表彰	山田島 崇文 (鹿児島県立錦江湾高等学校 校長) 他
4 講評	審査委員長 林 正彦 (秋田大学 教授)
5 高等学校文化連盟 全国自然科学専門部会長 挨拶	山田島 崇文 (鹿児島県立錦江湾高等学校 校長)
6 第50回全国高等学校総合文化祭 秋田県実行委員会 自然科学部門部会長 挨拶	竹村 竜祥 (秋田県立角館高等学校 校長)
7 第50回全国高等学校総合文化祭 秋田県実行委員会 自然科学部門 生徒部門別部会長 挨拶	原 琉樹 (秋田県立新屋高等学校)
8 閉会宣言	第50回全国高等学校総合文化祭秋田県実行委員会 自然科学部門 生徒部門別部会

・閉会式会場内では、誘導係の生徒の指示に従い、指定された座席に着席してください。

発表・審査・表彰について

1 出場人数

- ・ 発表1件につき、2名以内とします。

2 研究発表の注意事項

- ・ 発表者は、PC操作等を含め2名以内です。
- ・ 発表時間は10分以内です。質疑応答は4分以内とします。
- ・ 計時は、司会が「〇〇高校の皆さん、よろしくお願いします」と発言したところから始まります。計時の終了は、発表時間が終わった時点（参考文献・謝辞等も含む）とします。計時の開始時にベルを1回鳴らします。8分経過後にベルを1回鳴らします。10分経過後にベルを2回鳴らしますので速やかに発表を終了してください。14分経過後にベルを3回鳴らし、質問の有無にかかわらず中止とします。
- ・ 発表終了後、質疑応答となりますが、質問は生徒と審査委員に限ります。

3 ポスター発表時の注意事項

- ・ 審査は1つの研究につき2回を予定しています。1回目の審査は、1つの研究について概ね8分程度で行います。4分以内のプレゼン後、4分程度の質疑応答とします。計時の開始時にベルを1回鳴らします。4分経過後にベルを2回鳴らしますので、速やかに発表を終了してください。その後、質疑応答開始から4分後にベルが鳴ったら終了です。
- ・ 2回目の審査は、最初の1分で研究の概略説明、残り3分で質疑応答とします。
- ・ 会場は火気厳禁です。また、危険物並びに生きた動植物の持ち込みも原則禁止です。
- ・ ポスター発表については、参加校が投票を行い、この結果をポスター発表審査の平均点に加点します。受付で配付した投票用紙に7月30日（木）11:00までに記入し、投票箱に入れてください。なお、自分の学校には投票できません。

4 審査および表彰に関して

- ・ 全国高等学校総合文化祭自然科学部門審査規程により、審査を行います。
- ・ 未加盟県からの発表はオープン参加とし、審査の対象としません。
- ・ 審査委員会で協議の上、下記のとおり表彰します。

〈研究発表〉

・ 文部科学大臣賞（最優秀賞）	各分野1件	賞状・盾
・ 文化庁長官賞（優秀賞）	各分野2件	賞状・盾
・ 奨励賞	各分野5件	賞状

〈ポスター発表〉

・ 文部科学大臣賞（最優秀賞）	1件	賞状・盾
・ 文化庁長官賞（優秀賞）	2件	賞状・盾
・ 奨励賞	5件	賞状

発表に関する留意事項

I 研究発表の留意事項

- (1) 発表は、物理、化学、生物、地学の分野ごとの分科会形式で行います。
- (2) 発表者は、パソコン操作等を含め2名以内です。
- (3) 発表時間は10分以内とし、4分程度の質疑応答を行います。なお、質問は生徒と審査員に限ります。
- (4) 計時は、司会が「〇〇高校の皆さん、よろしくお願いします」と発言したところから始めます。計時の終了は、発表時間が終わった時点（参考文献・謝辞等も含む）とします。計時の開始時にベルを1回鳴らします。8分経過後にベルを1回鳴らします。10分経過後にベルを2回鳴らしますので速やかに発表を終了してください。14分経過後にベルを3回鳴らし、質問の有無にかかわらず中止とします。
- (5) 発表は日本語でお願いします。（英語等外国語は不可）
- (6) 原則として、各チームが持参したノートPC（またはタブレットPC等）を会場のプロジェクターにHDMI端子で接続します。画面比は4：3を推奨します。
- (7) 大会事務局が準備したノートPC（Windows11、PowerPoint2021仕様）を利用することも可能です（申込書様式3「部門事務局への連絡事項等」に記載）。当日持参したPCが不具合等の場合に利用することも可能です。ただし、動画等の動作の保証はできません。また、光学ドライブ無しの仕様です。USBでデータをご持参ください。ファイル名は「都道府県番号(半角)都道府県名・学校名・発表区分・分野」（例：5 秋田・角館・研究・地学）としてください。
- (8) 大会初日（7月29日）の10:00～11:30に動作確認の時間を設けます。各会場で接続を行ってください。（先着順）
- (9) 他校の発表をカメラやビデオ等で撮影したものについては、研修等での使用に限定し、インターネットやSNS等へのアップロードは禁止します。
- (10) 論文集をPDFで参加校に配付します。大会公式ウェブサイトからダウンロードしてください。冊子での配付はありません。パスワードは参加校に御連絡いたします。また、大会後は、ダウンロードできなくなりますので御注意ください。著作権を侵害する恐れのある画像等は使用しないでください。ダウンロードした論文PDFは関係者以外へは転送しないでください。
- (11) 発表論文をA4両面印刷で50部持参し、発表会場の指定の場所に置いてください。

2 ポスター発表の留意事項

- (1) 発表者は2名以内です。
- (2) 1つの研究について2回審査を行います。1回目の審査は、4分以内のプレゼンテーションの後、4分程度の質疑応答を行います。計時の開始時にベルを1回鳴らします。4分経過後にベルを2回鳴らしますので、速やかに発表を終了してください。その後、質疑応答開始から4分後にベルが鳴ったら終了です。2回目の審査は、1分以内のプレゼンテーション（概略説明）の後、3分程度の質疑応答とします。
- (3) 発表は日本語でお願いします。（英語等外国語による発表は不可）
- (4) 高さ120cm、幅90cm内に画鋏でポスターを掲示します。テープは使用できません。また、ポスター周辺に（既定の大きさを超える）装飾はできません。
- (5) 長机1脚を使用しての補助的な展示も可能です。机の大きさはグループによって異なり、2脚を並べて使用する場合があります。もし展示に不都合があれば申し出てください。
なお、電源は使用できません。
- (6) 危険物、火気、生きた動植物の持ち込みは禁止とします。
- (7) 発表時間は、7月29日(水)13:10～17:18、および30日(木)9:00～11:40です。
- (8) 自校の3つ前の発表が審査を行うときから、自校のポスターの前に待機してください。
- (9) 休憩は適宜行ってください。その際、備え付けの『休憩中』の標示物を掲示してください。
- (10) 他校の発表やポスター等をカメラやビデオ等で撮影したものについては、研修等での使用に限定し、インターネットやSNS等へのアップロードは禁止します。
- (11) 論文集をPDFで参加校に配付します。大会公式ウェブサイトからダウンロードしてください。冊子での配付はありません。パスワードは参加校にご連絡いたします。また、大会後は、ダウンロードできなくなりますのでご注意ください。著作権を侵害する恐れのある画像等は使用しないでください。ダウンロードした論文PDFは関係者以外へは転送しないでください。
- (12) 発表論文をA4両面印刷で50部持参し、ポスター前の机に置いてください。

全国高等学校総合文化祭自然科学部門審査および表彰規程

Ⅰ 研究発表

- (1) 研究発表は、制限時間内に研究内容・研究成果を、プレゼンテーションソフト等を用いて聴衆に説明する。その後、質疑応答を行う。
- (2) 審査は、次のⅠ、Ⅱにより行い、評価項目等は別に定め、総合的に評価する。
 - Ⅰ. 発表前に提出された研究発表論文による事前審査（計10点）
 - a. 発表論文のまとめ方は適切であるか。（5点）
 - b. 調査・研究の手段に創意工夫がなされ、結果の処理などが適切であるか。（5点）
 - Ⅱ. 発表会場における当日審査（計30点）
 - a. 発表の手段や方法は適切であるか。（10点）
 - b. 調査・研究の結果に基づいた推論が出されているか。（10点）
 - c. 発表の態度や質疑応答の回答は適切であるか。（10点）
- (3) 研究発表論文はA4 2ページとし、書式等は別に定める。
- (4) 審査委員一人あたり、事前審査10点、当日審査30点、合計40点を満点とする。各審査委員の得点の平均点を算出し、最終得点とする。
- (5) 順位・受賞発表は、審査委員それぞれの得点の平均点をもとにして、審査委員会で決定する。

2 ポスター発表

- (1) ポスター発表は、研究内容・研究成果を高さ120cm×幅90cm内に展示し、プレゼンテーションを行って来場者にこれを説明し、質疑応答や意見交換を行う。
- (2) 審査は、次のⅠ、Ⅱにより行い、評価項目等は別に定め、総合的に評価する。
 - Ⅰ. 発表前に提出されたポスター発表論文による事前審査（計10点）
 - a. 発表論文のまとめ方は適切であるか。（5点）
 - b. 調査・研究の手段に創意工夫がなされ、結果の処理などが適切であるか。（5点）
 - Ⅱ. 発表会場における当日審査（計30点）
 - a. ポスターのレイアウトや説明は適切であるか。（10点）
 - b. 調査・研究の結果に基づいた推論が出されているか。（10点）
 - c. 発表の態度や質疑応答の回答は適切であるか。（10点）
- (3) ポスター発表論文はA4 2ページとし、書式等は別に定める。
- (4) 審査委員一人あたり、事前審査10点、当日審査30点、合計40点を満点とする。
- (5) 各審査委員の得点の平均点を算出する。
- (6) 参加校からの投票を行い、その結果を（5）の平均点に加点し最終得点とする。
なお、この投票方式及び加点幅については、別に定める。

3 表彰

- (1) 順位・受賞発表は、最終得点をもとにして、協議により審査委員会で決定する。
- (2) 物理・化学・生物・地学の各4分野の研究発表およびポスター発表の計5つにおいて、最上位を最優秀賞とする。2～3位に該当する2件を優秀賞とする。4～8位に該当する5件を奨励賞とする。
- (3) 最優秀賞を文部科学大臣賞とする。優秀賞を文化庁長官賞とする。

参加者受付に関する留意事項

< 7月29日（水） >

- ・参加者受付は各発表会場で行います。
- ・受付には代表者1名がお越しください。
- ・受付後に研究発表参加者は各発表会場で機器の動作確認を、ポスター発表参加者はポスターの貼付および展示物の設置を行ってください。
- ・受付でID（ネームホルダー）と資料を配付します。大会期間中は常にIDの着用をお願いします。各発表会場、控室への入場時にIDを確認いたします。
- ・貴重品を含む荷物の管理は各自でお願いします。

< 7月30日（木） >

- ・参加者受付はありません。各発表会場、控室への入場時にIDを確認いたします。
- ・貴重品を含む荷物の管理は各自でお願いします。

< 7月31日（金） >

- ・けやきシアター入口でIDを確認いたします。
- ・スーツケースなどの大きな荷物は、荷物置場（生涯学習センター3F・講堂）に預けてください。貴重品の管理は各自でお願いします。控室、昼食会場はありません。

おもてなし弁当に関する留意事項

おもてなし弁当は7月29日(水)と30日(木)に準備します。宿泊サポートセンターを通してお申込みいただいた学校は、当日にお受け取りください。

日時：7月29日（水） 10:00～13:00

7月30日（木） 10:00～13:00

※7月31日（金）おもてなし弁当の手配はありません。

場所：生涯学習センター3F講堂脇ロビー（地学発表者等）

秋田県JAビル9Fロビー（物理・化学・生物・ポスター発表者等）

- ・受け取り場所毎に学校単位で受け取りをお願いします。
- ・昼食会場は原則各研究発表会場（発表開始前・終了後）です。
- ポスター発表者は秋田県JAビル9Fに設定します。

- ・食べ終わった弁当箱は回収します。
- ・必ず15:00までに返却してください。
- ・各自が持ち込んだゴミはお持ち帰りください。

救急体制

大会期間中に体調等が悪くなった場合は、近くの運営スタッフ（職員・生徒を問いません）にお声がけください。救護室は、7/29（水）、30（木）は生涯学習センターとJAビルに、7/31（金）は生涯学習センターに設置します。必要に応じて病院等を紹介いたします。

一般観覧の事前申込について／その他

発表会場の収容人数に限りがあるため、一般観覧につきましては下記のとおり制限を設けた上で、事前申込制といたします。あらかじめご了承くださいませようお願い申し上げます。（申込締切：6月30日）

- ・一般観覧は、発表者のご家族（保護者）のみとし、各発表者につき2名までといたします。なお、未就学児の同伴はご遠慮ください。
- ・観覧者用の駐車場はございません。公共交通機関をご利用ください。近隣の商業施設等への駐車は施設へのご迷惑となるため固く禁止いたします。
- ・原則としてポスター発表以外の会場については当該発表者の発表時間のみの観覧になります。なお、会場の状況により立ち見での観覧となる場合がありますのでご了承ください。
- ・開会式、巡検研修、閉会行事は観覧いただけません。
- ・発表当日は、各会場の受付にてIDカードをお受け取りのうえ、発表会場への入室の際に係員にご提示ください。
- ・発表会場以外への立ち入りはご遠慮ください。
- ・お申し込みは、以下のフォームまたは右のQRコードから必要事項をご入力ください。 <https://forms.gle/2Law2zGBF7yVTBzS8>



※各都道府県の自然科学部会において観覧を希望される方がいらっしゃれば、参加要領最終ページに記載の問い合わせ先へ別途ご相談ください。

その他

大会期間中、「秋田拠点センターアルヴェ 1階 きらめき広場」（秋田市東通仲町4-1）において秋田県内4ジオパークの見どころを紹介する「まるごと体験！あきたのジオパーク」を開催予定（7月31日）です（主催：秋田県ジオパーク連絡協議会）。来県の際にはぜひご来場ください（入館無料）。

発表校一覧

区分 都道府県	研究発表	研究発表	研究発表	研究発表	ポスター発表
	物理分野	化学分野	生物分野	地学分野	
北海道	北海道札幌啓成高等学校	北海道旭川北高等学校	北海道函館中部高等学校	北海道札幌啓成高等学校	北海道札幌南高等学校
青森県	青森県立青森高等学校	青森県立八戸高等学校	青森県立青森高等学校	青森県立青森高等学校	青森県立青森高等学校
岩手県	岩手県立盛岡第三高等学校	岩手県立久慈高等学校	岩手県立盛岡第一高等学校		岩手県立盛岡第一高等学校
宮城県	宮城県仙台二華高等学校	宮城県仙台第二高等学校	宮城県仙台第二高等学校	宮城県仙台第二高等学校	宮城県本吉響高等学校
秋田県	秋田県立横手高等学校	秋田県立大館鳳鳴高等学校	秋田県立大館鳳鳴高等学校	秋田県立秋田高等学校	秋田県立秋田高等学校
	秋田県立鹿角高等学校	秋田県立大館鳳鳴高等学校	秋田県立秋田高等学校	秋田県立秋田高等学校	秋田県立秋田高等学校
	秋田県立大館鳳鳴高等学校	秋田県立大館鳳鳴高等学校	秋田県立秋田高等学校		秋田県立新屋高等学校
	秋田県立由利工業高等学校	秋田県立秋田南高等学校	秋田県立秋田南高等学校		秋田県立新屋高等学校
		聖霊学園高等学校	聖霊学園高等学校		秋田県立由利高等学校
山形県	山形県立山形東高等学校	山形県立山形東高等学校	山形県立山形東高等学校	山形県立致道館高等学校	山形県立加茂水産高等学校
福島県	福島県立安積高等学校	福島県立安積高等学校	福島県立福島高等学校	福島県立会津学鳳高等学校	福島県立安積高等学校
茨城県	茨城県立日立第一高等学校	茨城県立並木中等教育学校	茨城県立並木中等教育学校	茨城県立日立第一高等学校	茨城県立日立第一高等学校
栃木県	栃木県立栃木高等学校	栃木県立栃木高等学校	栃木県立佐野高等学校	栃木県立大田原高等学校	栃木県立日光明峰高等学校
群馬県	群馬県立高崎高等学校	群馬県立前橋女子高等学校	群馬県立尾瀬高等学校	群馬県立太田女子高等学校	群馬県立前橋女子高等学校
埼玉県	埼玉県立浦和第一女子高等学校	埼玉県立熊谷女子高等学校	埼玉県立熊谷西高等学校	埼玉県立川越高等学校	埼玉県立川越高等学校
千葉県	千葉県立千葉高等学校	千葉県立長狭高等学校	東邦大学付属東邦高等学校	千葉県立佐原高等学校 千葉県立木更津高等学校	千葉県立長狭高等学校
東京都	玉川学園高等部	東京都立桜修館中等教育学校	安田学園高等学校	東京都立多摩科学技術高等学校	東京都立立川高等学校
神奈川県	川崎市立川崎高等学校	神奈川県立光陵高等学校	神奈川県立小田原高等学校	神奈川県立多摩高等学校	神奈川県立相模原弥栄高等学校
新潟県	東京学館新潟高等学校	新潟県立新発田高等学校	新潟県立海洋高等学校	新潟県立新潟高等学校	新潟明訓高等学校
富山県	高岡向陵高等学校	富山県立富山中部高等学校	富山県立富山中部高等学校		富山県立富山東高等学校
石川県	石川県立七尾高等学校	金沢高等学校	石川県立七尾高等学校	石川県立七尾高等学校	石川県立七尾高等学校
山梨県	山梨県立甲府西高等学校	北杜市立甲陵高等学校	山梨県立笛吹高等学校	山梨県立日川高等学校	山梨県立巨摩高等学校
長野県	長野県諏訪清陵高等学校	長野県諏訪清陵高等学校	長野県大町岳陽高等学校	長野県飯山高等学校	長野県諏訪清陵高等学校
岐阜県	岐阜県立多治見高等学校	岐阜県立八百津高等学校	岐阜県立岐阜高等学校	岐阜県立加茂高等学校	岐阜県立大垣北高等学校
静岡県	静岡県立浜松北高等学校	浜松日体高等学校	静岡県立焼津中央高等学校	静岡県立沼津東高等学校	静岡県立磐田南高等学校
愛知県		名古屋市立向陽高等学校	愛知県立岡崎高等学校		
滋賀県	滋賀県立膳所高等学校	滋賀県立彦根東高等学校	滋賀県立河瀬高等学校	滋賀県立米原高等学校	滋賀県立彦根東高等学校
京都府	京都市立京都工学院高等学校	京都市立京都工学院高等学校	京都府立桃山高等学校	京都府立南陽高等学校	京都府立桃山高等学校
兵庫県	兵庫県立姫路東高等学校	兵庫県立宝塚北高等学校	姫路市立師磨高等学校	兵庫県立姫路東高等学校	兵庫県立姫路東高等学校
和歌山県	近畿大学附属和歌山高等学校	和歌山県立日高高等学校	和歌山県立日高高等学校	智辯学園和歌山高等学校	和歌山県立日高高等学校
鳥取県	鳥取県立鳥取西高等学校	鳥取県立鳥取西高等学校	鳥取県立鳥取東高等学校		鳥取県立米子東高等学校
島根県		島根県立松江南高等学校	島根県立松江北高等学校	島根県立松江北高等学校	島根県立松江南高等学校
広島県	広島県立広島国泰寺高等学校	広島県立海田高等学校	広島県立西条農業高等学校	広島県立広島高等学校	広島県立祇園北高等学校
山口県	山口県立宇部高等学校	山口県立下関西高等学校	山口県立山口高等学校	山口県立下関西高等学校	山口県立徳山高等学校
徳島県	徳島県立富岡西高等学校		徳島県立城南高等学校		徳島県立脇町高等学校
香川県	高松第一高等学校	香川県立三本松高等学校	香川県立三本松高等学校	香川県立三本松高等学校	香川県立観音寺第一高等学校
愛媛県	愛媛県立松山南高等学校	愛媛県立三島高等学校	愛媛大学附属高等学校	済美高等学校	愛媛県立西条高等学校
高知県	高知県立高知小津高等学校		土佐塾高等学校	土佐塾高等学校	土佐女子高等学校
福岡県	福岡県立宗像高等学校	福岡県立明善高等学校	福岡県立東筑高等学校	福岡県立嘉穂高等学校	福岡県立城南高等学校
佐賀県	佐賀県立佐賀西高等学校	佐賀県立致遠館高等学校	佐賀県立鳥栖高等学校	佐賀県立佐賀北高等学校	佐賀県立致遠館高等学校
長崎県	長崎県立大村高等学校	長崎県立長崎南高等学校	長崎県立長崎北陽台高等学校	長崎県立長崎西高等学校	長崎県立長崎北陽台高等学校
熊本県	熊本県立熊本高等学校	熊本県立清々賀高等学校	熊本学園大学付属高等学校	熊本県立清々賀高等学校	熊本県立清々賀高等学校
大分県	大分県立大分上野丘高等学校	大分県立大分上野丘高等学校	大分県立大分舞鶴高等学校	大分県立日田高等学校	大分県立大分上野丘高等学校
宮崎県	宮崎県立都城東高等学校	宮崎県立宮崎西高等学校	宮崎県立宮崎西高等学校	宮崎県立宮崎西高等学校	宮崎県立宮崎大宮高等学校
鹿児島県	鹿児島県立鹿児島中央高等学校	鹿児島県立大島高等学校	池田学園池田高等学校	池田学園池田高等学校	鹿児島県立国分高等学校
沖縄県		昭和薬科大学附属高等学校	沖縄県立開邦高等学校	沖縄県立陽明高等学校	沖縄県立球陽高等学校
発表件数	42件	44件	46件	38件	45件

発表プログラム

研究発表 物理分野 A会場（秋田県J Aビル9階大ホール）

1日目 令和8年7月29日(水) 13:00～審査委員紹介、諸連絡 13:15～準備

No.	予定時刻	都道府県名	学校名	部・クラブ名	発表テーマ
物A01	13:20 ～ 13:34	神奈川県	川崎市立川崎高等学校	科学部	芯write万消
物A02	13:36 ～ 13:50	福岡県	福岡県立宗像高等学校	電気物理部	空の色に関する研究
物A03	13:52 ～ 14:06	石川県	石川県立七尾高等学校	SSC	気泡緩衝材の緩衝性能の測定と比較
物A04	14:08 ～ 14:22	山梨県	山梨県立甲府西高等学校	自然科学部	蜘蛛の巣構造の体積と強度の関係性
休憩 (14:22～14:37)					
物A05	14:37 ～ 14:51	秋田県	秋田県立横手高等学校	理工部	摩擦帯電型ナノ発電機におけるセルロース系材料の評価
物A06	14:53 ～ 15:07	高知県	高知県立高知小津高等学校	自然観察グループ	一絃琴の響板と倍音の関係
物A07	15:09 ～ 15:23	栃木県	栃木県立栃木高等学校	物理部	写真測定の精度向上手法の提案
物A08	15:25 ～ 15:39	北海道	北海道札幌啓成高等学校	科学部	風切り音における高周波数成分の発生条件～流線上の角柱から発生する音のスペクトラム分析～
休憩 (15:39～15:54)					
物A09	15:54 ～ 16:08	秋田県	秋田県立鹿角高等学校	科学部	シェフの気まぐれルビー～レンジでできる最大の大きさを目指して～
物A10	16:10 ～ 16:24	群馬県	群馬県立高崎高等学校	物理部	クインケ管実験は本当に音波の「干渉」で説明できるのか
物A11	16:26 ～ 16:40	千葉県	千葉市立千葉高等学校	物理化学部	ムペンバ効果～対流から見る効果の発生確率～
物A12	16:42 ～ 16:56	大分県	大分県立大分上野丘高等学校	物理部	模型火炎旋風発生装置の流体力学的考察
休憩 (16:56～17:11)					
物A13	17:11 ～ 17:25	岩手県	岩手県立盛岡第三高等学校	理数探究コース	音波消火器の実用化
物A14	17:27 ～ 17:41	和歌山県	近畿大学附属和歌山高等学校	科学部	昆虫の羽の形と飛行力について
物A15	17:43 ～ 17:57	東京都	玉川学園高等部	サイエンスクラブ	錐体細胞の光応答遅延を模擬した人工眼球による色の錯視メカニズムの研究
諸連絡 (17:57～18:00)					

2日目 令和8年7月30日(木) 8:55入室完了 9:00～諸連絡 9:10～準備

No.	予定時刻	都道府県名	学校名	部・クラブ名	発表テーマ
物A16	9:15 ～ 9:29	滋賀県	滋賀県立膳所高等学校	物理地学班	気体の違いによるオーロラの発色について
物A17	9:31 ～ 9:45	鹿児島県	鹿児島県立鹿児島中央高等学校	科学部	輪ゴム鉄砲の輪ゴムはなぜ的に当たらないのか
物A18	9:47 ～ 10:01	埼玉県	埼玉県立浦和第一女子高等学校	物理部	黒板消しの素材と消えやすさの関係
物A19	10:03 ～ 10:17	徳島県	徳島県立富岡西高等学校	自然科学部	成層圏環境における太陽電池用波長変換材料の開発
休憩 (10:17～10:32)					
物A20	10:32 ～ 10:46	香川県	高松第一高等学校	自然科学部	段差で自転車のハンドルがとられる条件
物A21	10:48 ～ 11:02	長野県	長野県諏訪清陵高等学校	物理部	災害救助と林業支援を目指した多目的ロボットの開発
諸連絡 (11:02～11:10)					

研究発表	物理分野 B会場（秋田県 J Aビル 8階中会議室）
------	----------------------------

1日目 令和8年7月29日(水) 13:00～審査委員紹介、諸連絡 13:15～準備

No.	予定時刻	都道府県名	学校名	部・クラブ名	発表テーマ
物B01	13:20 ～ 13:34	秋田県	秋田県立大館鳳鳴高等学校	物理部	最も光を集めやすい形状とは
物B02	13:36 ～ 13:50	茨城県	茨城県立日立第一高等学校	物理部	二つの音による消火
物B03	13:52 ～ 14:06	山口県	山口県立宇部高等学校	科学部	多面体の折り工学に関する数学考察と力学実験
物B04	14:08 ～ 14:22	新潟県	東京学館新潟高等学校	自然科学部	燕三条系ラーメンは本当に冷めにくいのか 油膜による温度降下抑制因子の解明
休憩 (14:22～14:37)					
物B05	14:37 ～ 14:51	愛媛県	愛媛県立松山南高等学校	自然科学部	光の魅せる逃げ水の不思議ー地面の凹凸と陽炎の影響ー
物B06	14:53 ～ 15:07	兵庫県	兵庫県立姫路東高等学校	科学部物理系研究部	ヘレシヨウセル内のPVAの粘度変化時において磁性流体がつくるラビリンスパターンの挙動
物B07	15:09 ～ 15:23	長崎県	長崎県立大村高等学校	理科部	振り子の長さの定義と共振する条件
物B08	15:25 ～ 15:39	宮崎県	宮崎県立都城泉ヶ丘高等学校	自然科学部物理班	人工リーフを利用した波を小さくする方法について
休憩 (15:39～15:54)					
物B09	15:54 ～ 16:08	広島県	広島県立広島国泰寺高等学校	科学部物理班	表面張力と射出速度が噴水の上下運動に与える影響
物B10	16:10 ～ 16:24	岐阜県	岐阜県立多治見高等学校	総合文化部 科学	落下する物体の入水時に生じる空気層について
物B11	16:26 ～ 16:40	佐賀県	佐賀県立佐賀西高等学校	サイエンス部	響板の形状と音の増幅について ～構造力学的観点から探る～
物B12	16:42 ～ 16:56	福島県	福島県立安積高等学校	物理部	スマートフォンの画面割れを防ぐための持ち方の研究
休憩 (16:56～17:11)					
物B13	17:11 ～ 17:25	宮城県	宮城県仙台二華高等学校	物理部	噴流における水滴の生成現象
物B14	17:27 ～ 17:41	鳥取県	鳥取県立鳥取西高等学校	自然科学部	ホワイトボードにおける「嫌な反射」の発生原因とその抑制
物B15	17:43 ～ 17:57	青森県	青森県立青森高等学校	自然科学部	螺旋型水車で小規模水力発電に挑む
諸連絡 (17:57～18:00)					

2日目 令和8年7月30日(木) 8:55入室完了 9:00～諸連絡 9:10～準備

No.	予定時刻	都道府県名	学校名	部・クラブ名	発表テーマ
物B16	9:15 ～ 9:29	京都府	京都市立京都工学院高等学校	サイエンスクラブ	安価に手軽に正確にデスクの上に「太陽」を！ ～高輝度LEDによる太陽光の再現と任意スペクトル制御～
物B17	9:31 ～ 9:45	山形県	山形県立山形東高等学校	探究部理数班科学部門	イネ科メヒシバの破断特性をもたらす構造の特定と応用
物B18	9:47 ～ 10:01	富山県	高岡向陵高等学校	自然科学部	干渉スペクトルによるニッケルメッキのハニカム構造の光路長解析
物B19	10:03 ～ 10:17	静岡県	静岡県立浜松北高等学校	自然科学部 物理(化学班)	強化学習による恐竜の自律的歩行周期の獲得と多元的行動シミュレーションの構築
休憩 (10:17～10:32)					
物B20	10:32 ～ 10:46	秋田県	秋田県立由利工業高等学校	科学部	紙飛行機の揚力 ～翼断面形状と迎え角～
物B21	10:48 ～ 11:02	熊本県	熊本県立熊本高等学校	物理部	超音波を用いた浮遊物の移動操作
諸連絡 (11:02～11:10)					

研究発表	化学分野 A会場（秋田県 JA ビル7階中会議室）
------	---------------------------

1日目 令和8年7月29日(水) 13:00～審査委員紹介、諸連絡 13:15～準備

No.	予定時刻	都道府県名	学校名	部・クラブ名	発表テーマ
化A01	13:20 ～ 13:34	岩手県	岩手県立久慈高等学校	科学部	ウニ由来色素の抽出方法の開発と分析
化A02	13:36 ～ 13:50	愛媛県	愛媛県立三島高等学校	自然科学部	乾燥卵黄による三不粘の安定再現を目指して
化A03	13:52 ～ 14:06	北海道	北海道旭川北高等学校	理科実験研究部	置換めっきした銅の色の違いと電子顕微鏡による表面の観察
化A04	14:08 ～ 14:22	秋田県	秋田県立秋田南高等学校	自然科学部	FT-IRを用いた猿田川流域のマイクロプラスチックの分析
休憩 (4:22～14:37)					
化A05	14:37 ～ 14:51	千葉県	千葉県立長狭高等学校	科学部	安全なブルーボトル反応の実現
化A06	14:53 ～ 15:07	滋賀県	滋賀県立彦根東高等学校	グローバルサイエンス部	金属腐食を引き起こしにくい融雪剤の検討
化A07	15:09 ～ 15:23	石川県	金沢高等学校	科学部	タケノコのアクによる昆布の溶解の解明
化A08	15:25 ～ 15:39	青森県	青森県立八戸高等学校	自然科学部	ペーストのひび割れに関する研究
休憩 (5:39～15:54)					
化A09	15:54 ～ 16:08	和歌山県	和歌山県立日高高等学校	科学部	低圧での抽出に関する研究
化A10	16:10 ～ 16:24	埼玉県	埼玉県立熊谷女子高等学校	自然科学部	少量の物質添加によるMg ²⁺ とNH ₄ ⁺ のリーゼガング現象
化A11	16:26 ～ 16:40	山口県	山口県立下関西高等学校	科学部	土を使わない培地の作製に関する研究
化A12	16:42 ～ 16:56	長崎県	長崎県立長崎南高等学校	科学部	生分解性樹脂を用いた炭酸飲料用ボトル作製～生分解性樹脂の特性評価～
休憩 (6:56～17:11)					
化A13	17:11 ～ 17:25	富山県	富山県立富山中部高等学校	スーパーサイエンス部	強塩基性銅(Ⅱ)錯イオン溶液に浸けた真鍮表面に生じる彩り豊かな構造色
化A14	17:27 ～ 17:41	沖縄県	昭和薬科大学附属高等学校	科学部	インドフェノール法によるアスコルビン酸の定量～応用へつなぐ基盤づくり～
化A15	17:43 ～ 17:57	秋田県	秋田県立大館鳳鳴高等学校	化学部	ハリエンジュ抽出液の抗菌性評価
諸連絡 (7:57～18:00)					

2日目 令和8年7月30日(木) 8:55入室完了 9:00～諸連絡 9:10～準備

No.	予定時刻	都道府県名	学校名	部・クラブ名	発表テーマ
化A16	9:15 ～ 9:29	佐賀県	佐賀県立致遠館高等学校	科学部	佐賀の特産品ワラスボがもつうまみ物質の成分分析と嗜好性の評価
化A17	9:31 ～ 9:45	栃木県	栃木県立栃木高等学校	化学部	地元石材を用いた重金属汚染解決への手法開発とその可能性への挑戦
化A18	9:47 ～ 10:01	香川県	香川県立三本松高等学校	科学部	ケミカルガーデンの膜伸長を促進する塩を探る
化A19	10:03 ～ 10:17	神奈川県	神奈川県立光陵高等学校	科学部	ピスマス結晶の色操りマス
休憩 (10:17～10:32)					
化A20	10:32 ～ 10:46	兵庫県	兵庫県立宝塚北高等学校	化学部	銅の煮色着色技法における新規発色メカニズムの提唱
化A21	10:48 ～ 11:02	大分県	大分県立大分上野丘高等学校	化学部	金属イオン共存下のニンヒドリン反応を活用した太陽電池
化A22	11:04 ～ 11:18	秋田県	秋田県立大館鳳鳴高等学校	化学部	身近な野菜抽出液を用いた色素増感太陽電池
諸連絡 (11:18～11:25)					

研究発表	化学分野 B会場（秋田県 JA ビル7階大会議室）
------	---------------------------

1日目 令和8年7月29日(水) 13:00～審査委員紹介、諸連絡 13:15～準備

No.	予定時刻	都道府県名	学校名	部・クラブ名	発表テーマ
化B01	13:20 ～ 13:34	島根県	島根県立松江南高等学校	科学部	穴道湖 Air電池Ⅱ ～湖水と空気から電圧を得る工夫～
化B02	13:36 ～ 13:50	宮城県	宮城県仙台第二高等学校	化学部	アセトアルデヒドによるフェーリング液の還元反応について～緑色溶液の生成要因～第二報
化B03	13:52 ～ 14:06	山形県	山形県立山形東高等学校	探究部理数班科学部門	蔵王温泉の化学実験への応用
化B04	14:08 ～ 14:22	鳥取県	鳥取県立鳥取西高等学校	自然科学部	植物を用いた鉱山排水処理方法の模索
休憩 (4:22～14:37)					
化B05	14:37 ～ 14:51	広島県	広島県立海田高等学校	科学部	メチレンブルーによる酸化還元反応についての研究
化B06	14:53 ～ 15:07	福岡県	福岡県立明善高等学校	化学部	炭酸水を用いたゲル化制御によるケイ酸ゲルの作製と物性の評価
化B07	15:09 ～ 15:23	秋田県	秋田県立大館鳳鳴高等学校	化学部	アキタフキを用いた草本炭とそれらの炭化材の吸着能
化B08	15:25 ～ 15:39	福島県	福島県立安積高等学校	化学部	硝酸ビスマス存在下でのビニロンの合成
休憩 (5:39～15:54)					
化B09	15:54 ～ 16:08	京都府	京都市立京都工学院高等学校	サイエンスクラブ	パン酵母から電気を生み出す！ ～微生物燃料電池の短絡電流と溶液濃度の関係～
化B10	16:10 ～ 16:24	長野県	長野県諏訪清陵高等学校	化学部	フラックス法を用いたエメラルド合成における生成過程の解明と考察
化B11	16:26 ～ 16:40	宮崎県	宮崎県立宮崎西高等学校	化学部	シクロデキストリンが2-クロロ-2-メチルプロパンの時計反応に与える影響
化B12	16:42 ～ 16:56	静岡県	浜松日体高等学校	科学研究部	藍の葉を用いたインジルビンの化学合成法の最適化
休憩 (6:56～17:11)					
化B13	17:11 ～ 17:25	愛知県	名古屋市立向陽高等学校	科学部	光照射によるメチレンブルーの新規反応の発見
化B14	17:27 ～ 17:41	山梨県	北杜市立甲陵高等学校	科学部	どんぐりのアク抜き手法と比較判定法について
化B15	17:43 ～ 17:57	熊本県	熊本県立済々黌高等学校	化学部	熊本の特産品を利用した 段ボールの強度向上について
諸連絡 (7:57～18:00)					

2日目 令和8年7月30日(木) 8:55入室完了 9:00～諸連絡 9:10～準備

No.	予定時刻	都道府県名	学校名	部・クラブ名	発表テーマ
化B16	9:15 ～ 9:29	新潟県	新潟県立新発田高等学校	自然科学部化学班	つかめる水を用いた植物の生育
化B17	9:31 ～ 9:45	群馬県	群馬県立前橋女子高等学校	科学部	卵殻膜における水素結合と柔軟性の関係の解析 ーグリセリンまたは尿素の添加による影響ー
化B18	9:47 ～ 10:01	秋田県	聖霊学園高等学校	自然科学	野菜粉末を用いたコスメに関する研究
化B19	10:03 ～ 10:17	茨城県	茨城県立並木中等教育学校	科学研究部	モリブデンの発色Ⅱ
休憩 (10:17～10:32)					
化B20	10:32 ～ 10:46	岐阜県	岐阜県立八百津高等学校	自然科学部	ドローンによる微小マイクロプラスチックの回収と分析Ⅱ
化B21	10:48 ～ 11:02	東京都	東京都立桜修館中等教育学校	科学部	アルカリ金属を捕獲・回収せよ！～温度応答性高分子を用いたアルカリ金属の新規分離法の開発～
化B22	11:04 ～ 11:18	鹿児島県	鹿児島県立大島高等学校	化学部	塩化銅(Ⅱ)二水和物の炎色反応が燃焼中に緑色から青色に変わる原因の究明
諸連絡 (11:18～11:25)					

研究発表	生物分野 A会場（秋田県 JA ビル9階コンベンションホール）
------	---------------------------------

1日目 令和8年7月29日(水) 13:00～審査委員紹介、諸連絡 13:15～準備

No.	予定時刻	都道府県名	学校名	部・クラブ名	発表テーマ
生A01	13:20 ～ 13:34	佐賀県	佐賀県立鳥栖高等学校	科学部	鳥栖市の淡水魚～20年間の変化～
生A02	13:36 ～ 13:50	宮崎県	宮崎県立宮崎西高等学校	生物部	ミヤザキサンショウウオの卵嚢採集における人工産卵床の形状確立
生A03	13:52 ～ 14:06	滋賀県	滋賀県立河瀬高等学校	科学部	ワラジムシの交替性転向反応と熱走性の関係
生A04	14:08 ～ 14:22	栃木県	栃木県立佐野高等学校	科学部	環境DNAを用いた絶滅危惧種の検出システムの開発
休憩 (4:22～14:37)					
生A05	14:37 ～ 14:51	岐阜県	岐阜県立岐阜高等学校	自然科学部生物班	市街地の環境に適応するアオスジアゲハ
生A06	14:53 ～ 15:07	神奈川県	神奈川県立小田原高等学校	科学部	神奈川県西部における地表徘徊性昆虫の分布と生態
生A07	15:09 ～ 15:23	和歌山県	和歌山県立日高高等学校	生物部	和歌山県在住ナガレホトケドジョウの周辺調査
生A08	15:25 ～ 15:39	秋田県	聖霊学園高等学校	自然科学	酢酸ナトリウムを用いた微生物電池の実用性に関する研究
休憩 (5:39～15:54)					
生A09	15:54 ～ 16:08	富山県	富山県立富山中部高等学校	スーパーサイエンス部	食用ウキクサでアクアポニックス
生A10	16:10 ～ 16:24	秋田県	秋田県立秋田高等学校	生物部	有機フッ素化合物(PFAS)のゲノムへの影響
生A11	16:26 ～ 16:40	福岡県	福岡県立東筑高等学校	生物部	ゴカイの止血能力について
生A12	16:42 ～ 16:56	埼玉県	埼玉県立熊谷西高等学校	自然科学部	安定電圧下での持続発電を可能とする微生物燃料電池の開発
休憩 (6:56～17:11)					
生A13	17:11 ～ 17:25	島根県	島根県立松江北高等学校	自然科学部	お米のおいしさ大研究 パー HX ～発芽玄米の構造が麴加工品に及ぼし得る影響～
生A14	17:27 ～ 17:41	高知県	土佐塾高等学校	科学部	浦ノ内湾の岩礁潮間帯に生息する貝類調査
生A15	17:43 ～ 17:57	長崎県	長崎県立長崎北陽台高等学校	生物部	ツボミガイとウミナは相利共生の可能性がある
諸連絡 (7:57～18:00)					

2日目 令和8年7月30日(木) 8:55入室完了 9:00～諸連絡 9:10～準備

No.	予定時刻	都道府県名	学校名	部・クラブ名	発表テーマ
生A16	9:15 ～ 9:29	北海道	北海道函館中部高等学校	科学部	アレロパシー活性の比較及びその抽出方法の検討
生A17	9:31 ～ 9:45	兵庫県	姫路市立飾磨高等学校	生物部	スズキの捕食行動における利きはいつ、どのように獲得されるのか
生A18	9:47 ～ 10:01	愛媛県	愛媛大学附属高等学校	理科部	アゲハのポリネーター能力とメロン栽培への応用
生A19	10:03 ～ 10:17	宮城県	宮城県仙台第二高等学校	生物部	上下両顎角度の食性への適応
休憩 (10:17～10:32)					
生A20	10:32 ～ 10:46	秋田県	秋田県立秋田南高等学校	自然科学部	カラス属の音声コミュニケーションの研究
生A21	10:48 ～ 11:02	徳島県	徳島県立城南高等学校	科学部	メダカカイロモンとミジンコ尖頭形成について
生A22	11:04 ～ 11:18	千葉県	東邦大学付属東邦高等学校	生物部	環境DNAによるイシガイ目貝類の探索と生育に適した護岸手法の検討
生A23	11:20 ～ 11:34	岩手県	岩手県立盛岡第一高等学校	生物部	ノコギリクワガタの幼生の成長と土壌細菌の関係についての研究
諸連絡 (11:34～11:45)					

研究発表	生物分野 B会場（秋田県 JA ビル 8階大会議室）
------	----------------------------

1日目 令和8年7月29日(水) 13:00～審査委員紹介、諸連絡 13:15～準備

No.	予定時刻	都道府県名	学校名	部・クラブ名	発表テーマ
生B01	13:20 ～ 13:34	京都府	京都府立桃山高等学校	グローバルサイエンス部	根粒菌による窒素固定の働きを可視化するための実験の開発
生B02	13:36 ～ 13:50	長野県	長野県大町岳陽高等学校	科学部	長野県大町市の水田における光合成細菌 Rhodospseudomonas 属に関する研究
生B03	13:52 ～ 14:06	東京都	安田学園高等学校	生物部	触角振動を介した機械刺激がミソバチの栄養交換を引き起こす :マーカーレス姿勢追跡AIツール DeepLabCutによる定量解析
生B04	14:08 ～ 14:22	大分県	大分県立大分舞鶴高等学校	科学部生物班	オカダンゴムシの触角と脚が交替性転向反応に与える影響
休憩 (14:22～14:37)					
生B05	14:37 ～ 14:51	静岡県	静岡県立焼津中央高等学校	自然科学部	クワガタムシ幼虫に見られるメス斑とは何か？
生B06	14:53 ～ 15:07	山梨県	山梨県立笛吹高等学校	植物研究部	山梨県自然記念物 芦川ニホンスズラン群落を守れ～低い開花 結実率とその要因～
生B07	15:09 ～ 15:23	熊本県	熊本学園大学付属高等学校	サイエンス部	ニホンアカガエルの性分化はストレスホルモンの影響を受けるのかII
生B08	15:25 ～ 15:39	山口県	山口県立山口高等学校	化学・生物部	昆虫と植物が示す漢方薬の力-漢方薬コオロギの活用提案-
休憩 (15:39～15:54)					
生B09	15:54 ～ 16:08	茨城県	茨城県立並木中等教育学校	科学研究部	モンシロチョウの匂い学習行動の調査
生B10	16:10 ～ 16:24	鹿児島県	池田学園池田高等学校	生物応答班	画像解析と統一補正式で導くゲンジボタルの明滅周期—全国分布図から分岐年代を考察—
生B11	16:26 ～ 16:40	青森県	青森県立青森高等学校	自然科学部	沈水植物の光合成の極性
生B12	16:42 ～ 16:56	沖縄県	沖縄県立開邦高等学校	生物部	アオミオカタニシの生息環境・食性・行動に関する研究
休憩 (16:56～17:11)					
生B13	17:11 ～ 17:25	秋田県	秋田県立秋田高等学校	生物部	アポトーシスを利用した抗がん剤の有効活用
生B14	17:27 ～ 17:41	香川県	香川県立三本松高等学校	科学部	香川県における国内外来種アカハネオンブバッタの侵入とオンブバッタの減少
生B15	17:43 ～ 17:57	石川県	石川県立七尾高等学校	SSC	マイクロプラスチックが大腸菌の増殖に与える影響
諸連絡 (17:57～18:00)					

2日目 令和8年7月30日(木) 8:55入室完了 9:00～諸連絡 9:10～準備

No.	予定時刻	都道府県名	学校名	部・クラブ名	発表テーマ
生B16	9:15 ～ 9:29	秋田県	秋田県立大館鳳鳴高等学校	生物部	ニホンザリガニの新生息地発見へ向けた調査と人工繁殖の実現
生B17	9:31 ～ 9:45	広島県	広島県立西条農業高等学校	自然科学部	コオロギ廃棄物由来の高機能土壌改良材の開発～微生物相デザインによる成長促進と食害抑制～
生B18	9:47 ～ 10:01	鳥取県	鳥取県立鳥取東高等学校	自然科学部	鳥取県千代川水系におけるテナガエビの追跡調査
生B19	10:03 ～ 10:17	福島県	福島県立福島高等学校	スーパーサイエンス部	福島盆地における蝶類群集の構造
休憩 (10:17～10:32)					
生B20	10:32 ～ 10:46	群馬県	群馬県立尾瀬高等学校	理科部	ニホンヤマメはどのような森林環境を利用するのか～垂直的空間利用と集材植物の選択性～
生B21	10:48 ～ 11:02	新潟県	新潟県立海洋高等学校	海洋生物研究部	キタノメダカの新規遺伝的集団の発見とその存続の危機
生B22	11:04 ～ 11:18	山形県	山形県立山形東高等学校	探究部理数班科学部門	乳酸菌の耐酸性について
生B23	11:20 ～ 11:34	愛知県	愛知県立岡崎高等学校	STEAM部	ゾウリムシの電気走性における軌跡の関数化への挑戦
諸連絡 (11:34～11:45)					

研究発表	地学分野 A会場（秋田県生涯学習センター 3F 講堂）
------	-----------------------------

1 日目 令和8年7月29日(水) 13:00～審査委員紹介、諸連絡 13:15～準備

No.	予定時刻	都道府県名	学校名	部・クラブ名	発表テーマ
地A01	13:20 ～ 13:34	青森県	青森県立青森高等学校	自然科学部	堤川の水質改善に関する研究
地A02	13:36 ～ 13:50	鹿児島県	池田学園池田高等学校	科学思考班	「靈憲候簿」の観測記録を用いた江戸期の気温復元－弘前藩江戸日記とのクロスチェック－
地A03	13:52 ～ 14:06	岐阜県	岐阜県立加茂高等学校	自然科学部	瑞浪層群から産出したサイ類化石の大きさと頸の形状の推定 ～なぜ、二種類のサイ類が生息できたのか？～
地A04	14:08 ～ 14:22	静岡県	静岡県立沼津東高等学校	科学部地学班	液状化の発生傾向と土粒子の大きさの関係
休憩 (4:22～14:37)					
地A05	14:37 ～ 14:51	茨城県	茨城県立日立第一高等学校	地学部	太陽光パネルの配置と発電効率の関係について
地A06	14:53 ～ 15:07	群馬県	群馬県立太田女子高等学校	理科研究部	群馬県榛名火山中腹から産出した魚の耳石化石
地A07	15:09 ～ 15:23	京都府	京都府立南陽高等学校	自然科学部	木津川流域を豪雨災害から守れ！ ～過去の災害記録と聞き取り調査から作成した真のハザードマップ～
地A08	15:25 ～ 15:39	埼玉県	埼玉県立川越高等学校	地学部	防犯カメラを用いた流星群の判別
休憩 (5:39～15:54)					
地A09	15:54 ～ 16:08	兵庫県	兵庫県立姫路東高等学校	科学部地学系研究部	豪州NSW 州南東部BingiBingiPoint複合深成岩体のマグマ分化末期の温度・圧力環境
地A10	16:10 ～ 16:24	山梨県	山梨県立日川高等学校	物理 地学部	火星大気の色の変化について
地A11	16:26 ～ 16:40	東京都	東京都立多摩科学技術高等学校	科学研究部	大気中M P sの挙動と地域環境の関係 ～「ハケ」と武蔵小金井地域の環境調査～
休憩 (6:40～16:55)					
地A12	16:55 ～ 17:09	栃木県	栃木県立大田原高等学校	スーパーサイエンスクラブ	那須野が原の標高データから洪水災害を予測する
地A13	17:11 ～ 17:25	千葉県	千葉県立佐原高等学校 千葉県立木更津高等学校	天文気象部 地学部	大気汚染物質起源と雲生成の関係
地A14	17:27 ～ 17:41	長野県	長野県飯山高等学校	自然科学部	奥信濃の土から釉薬をつくろう
諸連絡 (7:41～17:45)					

2 日目 令和8年7月30日(木) 9:10入室完了 9:15～諸連絡 9:25～準備

No.	予定時刻	都道府県名	学校名	部・クラブ名	発表テーマ
地A15	9:30 ～ 9:44	秋田県	秋田県立秋田高等学校	地学部	秋田県における土砂災害発生雨量と地質の関係
地A16	9:46 ～ 10:00	山口県	山口県立下関西高等学校	科学部	竹で大気を守る ～竹害解決からバイオマス資源としての活用へ～
地A17	10:02 ～ 10:16	福岡県	福岡県立嘉穂高等学校	サイエンス部	P波とS波の速度比による九州の地下構造に関する考察
休憩 (10:16～10:31)					
地A18	10:31 ～ 10:45	滋賀県	滋賀県立米原高等学校	地学部	混合霧の発生条件の検討
地A19	10:47 ～ 11:01	広島県	広島県立広島高等学校	情報 科学部	その地盤、信用できるか？－土粒子の質と構造に基づく液状化ポテンシャル－
諸連絡 (11:01～11:10)					

研究発表	地学分野 B会場（秋田県生涯学習センター 4F 第1研修室）
------	--------------------------------

1日目 令和8年7月29日(水) 13:00～審査委員紹介、諸連絡 13:15～準備

No.	予定時刻	都道府県名	学校名	部・クラブ名	発表テーマ
地B01	13:20 ～ 13:34	福島県	福島県立会津学鳳高等学校	SSH 探求部	中山風穴における風穴機能の変化要因の推定
地B02	13:36 ～ 13:50	沖縄県	沖縄県立陽明高等学校	科学部	なぜ校舎内は結露が起こるのか
地B03	13:52 ～ 14:06	香川県	香川県立三本松高等学校	科学部	3D プリンターで作成した東かがわ市の立体地図での津波モデル実験及び三本松港付近の浸水被害の減少法を考える
地B04	14:08 ～ 14:22	和歌山県	智辯学園和歌山高等学校	生物部	古墳の耐久性～根美山の古墳について～
休憩 (4:22～14:37)					
地B05	14:37 ～ 14:51	大分県	大分県立日田高等学校	科学部	日田の地から地球規模の変動を捉える～地磁気測定から～
地B06	14:53 ～ 15:07	秋田県	秋田県立秋田高等学校	地学部	地熱が雪崩発生に及ぼす影響の実験的研究
地B07	15:09 ～ 15:23	新潟県	新潟県立新潟高等学校	物理部	防砂ネットにおける砂の堆積と気象条件
地B08	15:25 ～ 15:39	佐賀県	佐賀県立佐賀北高等学校	地学部	佐賀県における気象の長期傾向と線状降水帯の多要因解析
休憩 (5:39～15:54)					
地B09	15:54 ～ 16:08	石川県	石川県立七尾高等学校	SSC	千里浜海岸に流入する河川の砂の色と成分の比較
地B10	16:10 ～ 16:24	山形県	山形県立致道館高等学校	科学部	酸化鉄含有量と土砂崩れ
地B11	16:26 ～ 16:40	熊本県	熊本県立済々黌高等学校	地学部	マイクロプラスチックはかえってくる？～重要なのは波よりしぶきだった～
地B12	16:42 ～ 16:56	愛媛県	済美高等学校	自然科学部	火星環境で地球の微生物による有機物の合成は可能か？
休憩 (6:56～17:11)					
地B13	17:11 ～ 17:25	神奈川県	神奈川県立多摩高等学校	地学部	多摩丘陵上総層群における微化石調査～古環境の変遷に対する考察～
地B14	17:27 ～ 17:41	宮城県	宮城県仙台第二高等学校	地学部	仙台二高南校地東側の石垣の風化要因
諸連絡 (7:41～17:45)					

2日目 令和8年7月30日(木) 9:10入室完了 9:15～諸連絡 9:25～準備

No.	予定時刻	都道府県名	学校名	部・クラブ名	発表テーマ
地B15	9:30 ～ 9:44	宮崎県	宮崎県立宮崎西高等学校	化学部	東石崩壊をおこす土壌中塩類集積のモデル実験
地B16	9:46 ～ 10:00	長崎県	長崎県立長崎西高等学校	地学部	レーザー干渉計による西高に飛来する砂塵の粒径及び量について
地B17	10:02 ～ 10:16	島根県	島根県立松江北高等学校	自然科学部	黄鉄鉱による酸性鉱山排水の発生と自然素材を用いた中和効果の評価～持続可能な環境保全に向けて～
休憩 (10:16～10:31)					
地B18	10:31 ～ 10:45	高知県	土佐塾高等学校	天文部	高知県の夜空の明るさ2025～高知市の夜空の色の原因を探る～
地B19	10:47 ～ 11:01	北海道	北海道札幌啓成高等学校	科学部	北海道北部下川町の植物化石の分類と産出から当時の植生を考える
諸連絡 (11:01～11:10)					

ポスター発表	A会場（さきがけホール）
--------	--------------

I日目 令和8年7月29日(水) 13:00～審査委員紹介、諸連絡

No.	予定時刻	都道府県名	学校名	部・クラブ名	発表テーマ
PA01	13:10 ～ 13:18	埼玉県	埼玉県立川越高等学校	生物部	カイコの拍動調節に関する研究
PA02	13:20 ～ 13:28	秋田県	秋田県立秋田高等学校	生物部	ツキノワグマの生態調査のためのDNA鑑定手法
PA03	13:30 ～ 13:38	香川県	香川県立観音寺第一高等学校	電気部	経験で受け継がれた木工継手は、科学的に最適なのか
PA04	13:40 ～ 13:48	東京都	東京都立立川高等学校	天文気象部	流星の謎を探る～流星の自動観測システムVer.2の構築と分析～
PA05	13:50 ～ 13:58	佐賀県	佐賀県立致遠館高等学校	科学部	アレロパシー作用をもつクマリンが植物の発芽および地上部生育に及ぼす影響
PA06	14:00 ～ 14:08	青森県	青森県立青森高等学校	自然科学部	ゲーミング反応の利用
PA07	14:10 ～ 14:18	北海道	北海道札幌南高等学校	科学部	ニホンカワトンボにおける雌擬態の意義
PA08	14:20 ～ 14:28	石川県	石川県立七尾高等学校	SSC	高分子化合物および界面活性剤が尿素の形状に与える影響
休憩（14:28～14:40）					
PA09	14:40 ～ 14:48	和歌山県	和歌山県立日高高等学校	生物部	カメムシ香水の作製
PA10	14:50 ～ 14:58	宮城県	宮城県本吉響高等学校	科学部	カブトムシ（オス）の配偶行動の促進要因は老化に伴って変化する～カブトムシの発熱と配偶行動の関係～
PA11	15:00 ～ 15:08	鹿児島県	鹿児島県立国分高等学校	サイエンス部	硫化水素警報装置の開発 ～全国の中学校の硫化水素による実験事故を未然に防ぐ～
PA12	15:10 ～ 15:18	秋田県	秋田県立新屋高等学校	理科研究部	在来水生生物の保全と外来生物の有効活用① ～アメリカザリガニの肥料化～
PA13	15:20 ～ 15:28	山梨県	山梨県立巨摩高等学校	自然科学部	バッタの視覚特性についての研究 ～バッタはなぜ草原にいるのか～
PA14	15:30 ～ 15:38	茨城県	茨城県立日立第一高等学校	地学部	ダムの洪水調節の柔軟化を目指した予測雨量によるダム流入量推定の研究
PA15	15:40 ～ 15:48	新潟県	新潟県立明訓高等学校	生物部	PCR法を用いたハバチ幼虫同定の試み ～希少鳥ノジコの食性分析への応用～
PA16	15:50 ～ 15:58	熊本県	熊本県立済々黌高等学校	生物部	クモヒトデが使い分ける3つの移動方法
休憩（15:58～16:10）					
PA17	16:10 ～ 16:18	京都府	京都府立桃山高等学校	グローバルサイエンス部	集風装置を用いた風力発電の効率化について
PA18	16:20 ～ 16:28	沖縄県	沖縄県立球陽高等学校	生物部	アリを環境指標として都市化が種多様性に与える影響を探る ～ヤンバルとタイの自然林と市街地環境の比較～
PA19	16:30 ～ 16:38	徳島県	徳島県立脇町高等学校	探究部	オーロラの形状と地磁気変動
PA20	16:40 ～ 16:48	岐阜県	岐阜県立大垣北高等学校	自然科学部オオサンショウウオ班	岐阜のオオサンショウウオを守る！ ～交雑オオサンショウウオの食性特性と生態系・水産業への影響～
PA21	16:50 ～ 16:58	広島県	広島県立祇園北高等学校	科学研究部	古川のユスリカの群飛行動に関する研究 ～どうしてそこに集まるのか？群飛条件を探る～
PA22	17:00 ～ 17:08	山口県	山口県立徳山高等学校	科学部	竹の葉・たけのこの皮を用いたおかずカップの開発
PA23	17:10 ～ 17:18	山形県	山形県立加茂水産高等学校	水産生物部	ウキゴリ属3種の腹ビレ形態比較と生息環境の違い
諸連絡（17:18～17:30）					

ポスター発表	A会場（さきがけホール）
--------	--------------

2日目 令和8年7月30日(木) 8:45入室完了 8:55～諸連絡

No.	予定時刻	都道府県名	学校名	部・クラブ名	発表テーマ
PA01	9:00 ～ 9:04	埼玉県	埼玉県立川越高等学校	生物部	カイコの拍動調節に関する研究
PA02	9:06 ～ 9:10	秋田県	秋田県立秋田高等学校	生物部	ツキノワグマの生態調査のためのDNA鑑定手法
PA03	9:12 ～ 9:16	香川県	香川県立観音寺第一高等学校	電気部	経験で受け継がれた木工継手は、科学的に最適なのか
PA04	9:18 ～ 9:22	東京都	東京都立立川高等学校	天文気象部	流星の謎を探る～流星の自動観測システムVer.2の構築と分析～
PA05	9:24 ～ 9:28	佐賀県	佐賀県立致遠館高等学校	科学部	アレロパシー作用をもつクマリンが植物の発芽および地上部生育に及ぼす影響
PA06	9:30 ～ 9:34	青森県	青森県立青森高等学校	自然科学部	ゲーミング反応の利用
PA07	9:36 ～ 9:40	北海道	北海道札幌南高等学校	科学部	ニホンカワトンボにおける雌擬態の意義
PA08	9:42 ～ 9:46	石川県	石川県立七尾高等学校	SSC	高分子化合物および界面活性剤が尿素の形状に与える影響
休憩 (9:46～10:00)					
PA09	10:00 ～ 10:04	和歌山県	和歌山県立日高高等学校	生物部	カメムシ香水の作製
PA10	10:06 ～ 10:10	宮城県	宮城県本吉響高等学校	科学部	カブトムシ(オス)の配偶行動の促進要因は老化に伴って変化する～カブトムシの発熱と配偶行動の関係～
PA11	10:12 ～ 10:16	鹿児島県	鹿児島県立国分高等学校	サイエンス部	硫化水素警報装置の開発 ～全国の中学校の硫化水素による実験事故を未然に防ぐ～
PA12	10:18 ～ 10:22	秋田県	秋田県立新屋高等学校	理科研究部	在来水生生物の保全と外来生物の有効活用① ～アメリカザリガニの肥料化～
PA13	10:24 ～ 10:28	山梨県	山梨県立巨摩高等学校	自然科学部	バッタの視覚特性についての研究 ～バッタはなぜ草原にいるのか～
PA14	10:30 ～ 10:34	茨城県	茨城県立日立第一高等学校	地学部	ダムの洪水調節の柔軟化を目指した予測雨量によるダム流入量推定の研究
PA15	10:36 ～ 10:40	新潟県	新潟県立明訓高等学校	生物部	PCR法を用いたハバチ幼虫同定の試み ～希少鳥ノジコの食性分析への応用～
PA16	10:42 ～ 10:46	熊本県	熊本県立済々黌高等学校	生物部	クモヒトデが使い分ける3つの移動方法
休憩 (10:46～11:00)					
PA17	11:00 ～ 11:04	京都府	京都府立桃山高等学校	グローバルサイエンス部	集風装置を用いた風力発電の効率化について
PA18	11:06 ～ 11:10	沖縄県	沖縄県立球陽高等学校	生物部	アリを環境指標として都市化が種多様性に与える影響を探る ～ヤンバルとタイの自然林と市街地環境の比較～
PA19	11:12 ～ 11:16	徳島県	徳島県立脇町高等学校	探究部	オーロラの形状と地磁気変動
PA20	11:18 ～ 11:22	岐阜県	岐阜県立大垣北高等学校	自然科学部オオサンショウウオ班	岐阜のオオサンショウウオを守る！ ～交雑オオサンショウウオの食性特性と生態系・水産業への影響～
PA21	11:24 ～ 11:28	広島県	広島県立祇園北高等学校	科学研究部	古川のユスリカの群飛行動に関する研究 ～どうしてそこに集まるのか？群飛条件を探る～
PA22	11:30 ～ 11:34	山口県	山口県立徳山高等学校	科学部	竹の葉・たけのこの皮を用いたおかずカップの開発
PA23	11:36 ～ 11:40	山形県	山形県立加茂水産高等学校	水産生物部	ウキゴリ属3種の腹ビレ形態比較と生息環境の違い
諸連絡 (11:42～11:50)					

ポスター発表	B会場（さきがけホール）
--------	--------------

I 日目 令和8年7月29日(水) 13:00～審査委員紹介、諸連絡

No.	予定時刻	都道府県名	学校名	部・クラブ名	発表テーマ
PB01	13:10 ～ 13:18	群馬県	群馬県立前橋女子高等学校	科学部	クジラジラミがクジラに付着するための体のつくり
PB02	13:20 ～ 13:28	福岡県	福岡県立城南高等学校	物理部	ブラックボックス問題を解決するXAIⅡに関する研究
PB03	13:30 ～ 13:38	鳥取県	鳥取県立米子東高等学校	自然科学部	水質のことは珪藻に聞け！～珪藻で汽水湖の水質をはかることはできるのか～
PB04	13:40 ～ 13:48	富山県	富山県立富山東高等学校	科学部	ヒカリホが黄金に光る仕組みの解明
PB05	13:50 ～ 13:58	福島県	福島県立安積高等学校	化学部	銅(Ⅱ)-アミノ酸錯体存在下での酸化銅(Ⅰ)生成過程の解明
PB06	14:00 ～ 14:08	岩手県	岩手県立盛岡第一高等学校	生物部	盛岡市におけるミチノクケマダラカミキリの分布と繁殖
PB07	14:10 ～ 14:18	秋田県	秋田県立秋田高等学校	生物部	微細藻類研究について
PB08	14:20 ～ 14:28	宮崎県	宮崎県立宮崎大宮高等学校	自然科学部	各地域におけるシラスの蓄熱性の違いと風化の影響
休憩 (4:28～14:40)					
PB09	14:40 ～ 14:48	神奈川県	神奈川県立相模原弥栄高等学校	サイエンス部	天然素材で自然をクリーンに ～お掃除殺菌 身のお悩み解消！～
PB10	14:50 ～ 14:58	長崎県	長崎県立長崎北陽台高等学校	生物部	アマオブネガイの表現型可塑性に関する研究 ～波が強いと突起を増やして滑りにくくする？～
PB11	15:00 ～ 15:08	千葉県	千葉県立長狭高等学校	科学部	ヨウ素時計反応の誘導時間短縮の謎を追う
PB12	15:10 ～ 15:18	静岡県	静岡県立磐田南高等学校	生物部	スギナに見られる蛍光成分V
PB13	15:20 ～ 15:28	大分県	大分県立大分上野丘高等学校	化学部	グルコースの変旋光の解析と活用
PB14	15:30 ～ 15:38	長野県	長野県諏訪清陵高等学校	生物部	Hydora vulgaris の姿勢と明暗条件の関係 ～ヒドらは体内時計を持つか～
PB15	15:40 ～ 15:48	秋田県	秋田県立由利高等学校	科学部	酵母の分離と比較～地域における野生酵母の探究～
PB16	15:50 ～ 15:58	栃木県	栃木県立日光明峰高等学校	科学部	中禅寺湖の水質調査
休憩 (5:58～16:10)					
PB17	16:10 ～ 16:18	島根県	島根県立松江南高等学校	科学部	屈折率を用いた溶液の濃度分布測定を試み
PB18	16:20 ～ 16:28	高知県	土佐女子高等学校	生物部	リュウキュウの茎はなぜ折れないのか？
PB19	16:30 ～ 16:38	秋田県	秋田県立新屋高等学校	理科学研究部	在来水生生物の保全と外来生物の有効活用② ～アメリカザリガニ疑似餌(グミフォーム)～
PB20	16:40 ～ 16:48	滋賀県	滋賀県立彦根東高等学校	グローバルサイエンス部地学班	太陽活動を追う3
PB21	16:50 ～ 16:58	兵庫県	兵庫県立姫路東高等学校	科学部生物系研究部	二胚動物門ニハイチュウの生活環解明に向けて
PB22	17:00 ～ 17:08	愛媛県	愛媛県立西条高等学校	科学部	電子レンジを用いたセスキ炭酸ナトリウムの簡便な高収率化
PB23	17:10 ～ 17:18	※A会場審査中			
諸連絡 (7:18～17:30)					

ポスター発表	B会場（さきがけホール）
--------	--------------

2日目 令和8年7月30日(木) 8:45入室完了 8:55～諸連絡

No.	予定時刻	都道府県名	学校名	部・クラブ名	発表テーマ
PB01	9:00 ～ 9:04	群馬県	群馬県立前橋女子高等学校	科学部	クジラジラミがクジラに付着するための体のつくり
PB02	9:06 ～ 9:10	福岡県	福岡県立城南高等学校	物理部	ブラックボックス問題を解決するX A IIに関する研究
PB03	9:12 ～ 9:16	鳥取県	鳥取県立米子東高等学校	自然科学部	水質のことは珪藻に聞け！～珪藻で汽水湖の水質をはかることはできるのか～
PB04	9:18 ～ 9:22	富山県	富山県立富山東高等学校	科学部	ヒカリホが黄金に光る仕組みの解明
PB05	9:24 ～ 9:28	福島県	福島県立安積高等学校	化学部	銅(II)-アミノ酸錯体存在下での酸化銅(I)生成過程の解明
PB06	9:30 ～ 9:34	岩手県	岩手県立盛岡第一高等学校	生物部	盛岡市におけるミチノクケマダラカミキリの分布と繁殖
PB07	9:36 ～ 9:40	秋田県	秋田県立秋田高等学校	生物部	微細藻類研究について
PB08	9:42 ～ 9:46	宮崎県	宮崎県立宮崎大宮高等学校	自然科学部	各地域におけるシラスの蓄熱性の違いと風化の影響
休憩 (9:46～10:00)					
PB09	10:00 ～ 10:04	神奈川県	神奈川県立相模原弥栄高等学校	サイエンス部	天然素材で自然をクリーンに ～お掃除殺菌 身のお悩み解消！～
PB10	10:06 ～ 10:10	長崎県	長崎県立長崎北陽台高等学校	生物部	アマオブネガイの表現型可塑性に関する研究 ～波が強いと突起を増やして滑りにくくする？～
PB11	10:12 ～ 10:16	千葉県	千葉県立長狭高等学校	科学部	ヨウ素時計反応の誘導時間短縮の謎を追う
PB12	10:18 ～ 10:22	静岡県	静岡県立磐田南高等学校	生物部	スギナに見られる蛍光成分V
PB13	10:24 ～ 10:28	大分県	大分県立大分上野丘高等学校	化学部	グルコースの変旋光の解析と活用
PB14	10:30 ～ 10:34	長野県	長野県諏訪清陵高等学校	生物部	Hydora vulgaris の姿勢と明暗条件の関係 ～ヒドらは体内時計を持つか～
PB15	10:36 ～ 10:40	秋田県	秋田県立由利高等学校	科学部	酵母の分離と比較～地域における野生酵母の探究～
PB16	10:42 ～ 10:46	栃木県	栃木県立日光明峰高等学校	科学部	中禅寺湖の水質調査
休憩 (10:46～11:00)					
PB17	11:00 ～ 11:04	島根県	島根県立松江南高等学校	科学部	屈折率を用いた溶液の濃度分布測定を試み
PB18	11:06 ～ 11:10	高知県	土佐女子高等学校	生物部	リュウキュウの茎はなぜ折れないのか？
PB19	11:12 ～ 11:16	秋田県	秋田県立新屋高等学校	理科学研究部	在来水生生物の保全と外来生物の有効活用② ～アメリカザリガニ疑似餌(グミワーム)～
PB20	11:18 ～ 11:22	滋賀県	滋賀県立彦根東高等学校	グローバルサイエンス部地学班	太陽活動を追う3
PB21	11:24 ～ 11:28	兵庫県	兵庫県立姫路東高等学校	科学部生物系研究部	二胚動物門ニハイチュウの生活環解明に向けて
PB22	11:30 ～ 11:34	愛媛県	愛媛県立西条高等学校	科学部	電子レンジを用いたセスキ炭酸ナトリウムの簡便な高収率化
PB23	11:36 ～ 11:40	※ A会場審査中			
諸連絡 (11:42～11:50)					

巡検研修

A 「水をきれいに、風を電気に」

<参加校>

都道府県	発表区分	分野	学校名	部活動名	生徒	引率	合計
秋田県	研究発表	物理	秋田県立由利工業高等学校	科学部	2	1	3
栃木県	研究発表	物理	栃木県立栃木高等学校	物理部	2	1	3
栃木県	研究発表	地学	栃木県立大田原高等学校	スーパーサイエンスクラブ	2	1	3
群馬県	研究発表	化学	群馬県立前橋女子高等学校	科学部	2	1	3
群馬県	ポスター発表	生物	群馬県立前橋女子高等学校	科学部	1	0	1
新潟県	研究発表	化学	新潟県立新発田高等学校	自然科学部化学班	2	1	3
山梨県	研究発表	化学	北杜市立甲陵高等学校	科学部	2	1	3
岐阜県	研究発表	化学	岐阜県立八百津高等学校	自然科学部	2	1	3

<訪問先> 東北環境管理株式会社・秋田洋上風力発電株式会社（秋田市）

<内 容> 施設見学・説明(屋内外)

<行 程> 13:00 出発 →13:20 東北環境管理株式会社 到着（施設見学・説明60分程度） →
 （予定） 14:30 東北環境管理株式会社 出発 →14:50 AOW 風みらい館 到着（施設見学・説明60分程度） →16:00 見学・説明終了後ポートタワーセリオン自由見学 →16:30
 ポートタワーセリオン 出発 →17:00 秋田駅到着 →17:30 秋田県生涯学習センター 到着

<服装・持ち物> 涼しい服装・飲み物・帽子・雨天時は簡易雨具

<バス号車> A号車

<出発時間・乗車場所> 13時00分までにバス乗車場所へ集合してください。

<連絡事項> 帰りは秋田駅または秋田県生涯学習センター駐車場で解散となります。

B 「鉱物に学ぶ地球の過去・未来」

<参加校>

都道府県	発表区分	分野	学校名	部活動名	生徒	引率	合計
青森県	研究発表	物理	青森県立青森高等学校	自然科学部	2	0	2
青森県	研究発表	生物	青森県立青森高等学校	自然科学部	2	1	3
秋田県	研究発表	物理	秋田県立鹿角高等学校	科学部	2	1	3
山形県	研究発表	物理	山形県立山形東高等学校	探究部理数班科学部門	2	1	3
山形県	研究発表	化学	山形県立山形東高等学校	探究部理数班科学部門	2	0	2
山形県	研究発表	生物	山形県立山形東高等学校	探究部理数班科学部門	2	1	3
富山県	研究発表	化学	富山県立富山中部高等学校	スーパーサイエンス部	2	1	3
香川県	研究発表	物理	高松第一高等学校	自然科学部	2	1	3
福岡県	研究発表	化学	福岡県立明善高等学校	化学部	2	1	3
長崎県	研究発表	地学	長崎県立長崎西高等学校	地学部	2	1	3
大分県	研究発表	物理	大分県立大分上野丘高等学校	物理部	2	0	2
大分県	研究発表	化学	大分県立大分上野丘高等学校	化学部	2	0	2
大分県	ポスター発表	化学	大分県立大分上野丘高等学校	化学部	2	1	3
沖縄県	研究発表	地学	沖縄県立陽明高等学校	科学部	2	1	3

<訪問先> 秋田大学国際資源学部・秋田大学鉱業博物館（秋田市）

<内 容> 施設見学・実習

<行 程> 13:30 出発 →13:50 秋田大学 到着（秋田大学鉱業博物館見学 60分程度） →
（予定） 15:15 秋田大学国際資源学部（講義・実習 60分程度） →16:45 秋田大学 出発
→17:00 秋田駅到着 →17:30 秋田県生涯学習センター 到着

<服装・持ち物> 筆記用具・飲み物

<バス号車> B号車

<出発時間・乗車場所> 13時30分までにバス乗車場所へ集合してください。

<連絡事項> 帰りは秋田駅または秋田県生涯学習センター駐車場で解散となります。

C 「秋田の地質・環境・生物・文化をまとめて体感」

<参加校>

都道府県	発表区分	分野	学校名	部活動名	生徒	引率	合計
北海道	研究発表	生物	北海道函館中部高等学校	科学部	2	1	3
秋田県	研究発表	生物	秋田県立大館鳳鳴高等学校	生物部	2	1	3
福島県	研究発表	物理	福島県立安積高等学校	物理部	2	1	3
福島県	研究発表	生物	福島県立福島高等学校	スーパーサイエンス部	1	1	2
埼玉県	ポスター発表	生物	埼玉県立川越高等学校	生物部	2	1	3
千葉県	研究発表	生物	東邦大学付属東邦高等学校	生物部	2	1	3
神奈川県	研究発表	物理	川崎市立川崎高等学校	科学部	2	1	3
神奈川県	研究発表	地学	神奈川県立多摩高等学校	地学部	2	1	3
新潟県	研究発表	物理	東京学館新潟高等学校	自然科学部	2	1	3
愛知県	研究発表	生物	愛知県立岡崎高等学校	STEAM部	2	1	3
愛媛県	研究発表	地学	済美高等学校	自然科学部	2	1	3
愛媛県	ポスター発表	化学	愛媛県立西条高等学校	科学部	2	1	3
熊本県	ポスター発表	生物	熊本県立済々黌高等学校	生物部	2	1	3

<訪問先> 秋田県立博物館（秋田市）

<内 容> 施設見学・説明

<行 程> 13:30 出発 →14:00 秋田県立博物館 到着（オリエンテーション・館内特別展見学・
（予定） 自由見学 120 分程度） →16:00 秋田県立博物館 出発 →16:50 秋田駅到着 →
17:20 秋田県生涯学習センター 到着

<服装・持ち物> 筆記用具・飲み物

<バス号車> C号車

<出発時間・乗車場所> 13時30分までにバス乗車場所へ集合してください。

<連絡事項> 帰りは秋田駅または秋田県生涯学習センター駐車場で解散となります。

D 「氷の大陸の夢と、未来のテクノロジー」

<参加校>

都道府県	発表区分	分野	学校名	部活動名	生徒	引率	合計
秋田県	研究発表	生物	秋田県立秋田高等学校	生物部	2	1	2
福島県	ポスター発表	化学	福島県立安積高等学校	化学部	2	1	3
栃木県	研究発表	化学	栃木県立栃木高等学校	化学部	2	1	3
長野県	研究発表	物理	長野県諏訪清陵高等学校	物理部	2	1	3
山口県	研究発表	物理	山口県立宇部高等学校	科学部	2	1	3
山口県	研究発表	化学	山口県立下関西高等学校	科学部	1	1	2
山口県	研究発表	地学	山口県立下関西高等学校	科学部	1	0	1
香川県	研究発表	地学	香川県立三本松高等学校	科学部	2	1	3
愛媛県	研究発表	生物	愛媛大学附属高等学校	理科部	1	1	2
佐賀県	研究発表	化学	佐賀県立致遠館高等学校	科学部	2	1	3
佐賀県	ポスター発表	生物	佐賀県立致遠館高等学校	科学部	2	0	2

<訪問先> 白瀬南極探検隊記念館・TDK歴史みらい館（にかほ市）

<内 容> 施設見学・説明

<行 程> 12:45 出発 → 14:00 TDK歴史みらい館 到着（施設見学・説明 60分程度） →
 （予定） 15:00 TDK歴史みらい館 出発 → 15:15 白瀬南極探検隊記念館 到着（施設見
 学 60分程度） → 16:30 白瀬南極探検隊記念館 出発 → 18:00 秋田駅 到着 →
 18:30 秋田県生涯学習センター到着

<服装・持ち物> 筆記用具・飲み物

<バス号車> D号車

<出発時間・乗車場所> 12時45分までにバス乗車場所へ集合してください。

<連絡事項> 帰りは秋田駅または秋田県生涯学習センター駐車場で解散となります。

E 「ロケットとエネルギーの最前線へ」

<参加校>

都道府県	発表区分	分野	学校名	部活動名	生徒	引率	合計
北海道	研究発表	化学	北海道旭川北高等学校	理科実験研究部	2	1	3
岩手県	研究発表	化学	岩手県立久慈高等学校	科学部	1	1	2
秋田県	研究発表	生物	秋田県立秋田南高等学校	自然科学部	2	1	2
埼玉県	研究発表	化学	埼玉県立熊谷女子高等学校	自然科学部	2	1	3
東京都	研究発表	地学	東京都立多摩科学技術高等学校	科学研究部	2	1	3
富山県	研究発表	物理	高岡向陵高等学校	自然科学部	2	1	3
静岡県	研究発表	地学	静岡県立沼津東高等学校	科学部地学班	2	1	3
滋賀県	研究発表	化学	滋賀県立彦根東高等学校	グローバルサイエンス部	2	1	3
滋賀県	研究発表	生物	滋賀県立河瀬高等学校	科学部	2	1	3
鳥取県	研究発表	物理	鳥取県立鳥取西高等学校	自然科学部	2	0	2
鳥取県	研究発表	化学	鳥取県立鳥取西高等学校	自然科学部	1	1	2
鹿児島県	研究発表	物理	鹿児島県立鹿児島中央高等学校	科学部	2	1	3
鹿児島県	ポスター発表	化学	鹿児島県立国分高等学校	サイエンス部	2	1	3
沖縄県	研究発表	化学	昭和薬科大学附属高等学校	科学部	2	1	3

<訪問先> JAXA能代ロケット試験場・能代エナジウムパーク（能代市）

<内 容> 施設見学・説明

<行 程> 13:00 出発 →14:30 JAXA 能代ロケット試験場 到着（施設見学 60 分程度） →
（予定） 15:15 JAXA 能代ロケット試験場 出発 →15:30 能代エナジウムパーク 到着（施設
見学 60 分程度） →16:45 能代エナジウムパーク 出発 →18:00 秋田駅 到着
→18:30 秋田県生涯学習センター 到着

<服装・持ち物> 筆記用具・飲み物

<バス号車> E号車

<出発時間・乗車場所> 13時00分までにバス乗車場所へ集合してください。

<連絡事項> 帰りは秋田駅または秋田県生涯学習センター駐車場で解散となります。

F 「世界自然遺産の価値を学ぶ」

<参加校>

都道府県	発表区分	分野	学校名	部活動名	生徒	引率	合計
青森県	研究発表	化学	青森県立八戸高等学校	自然科学部	2	1	3
秋田県	研究発表	物理	秋田県立横手高等学校	理工部	2	1	3
千葉県	研究発表	物理	千葉市立千葉高等学校	物理化学部	2	1	3
東京都	研究発表	生物	安田学園高等学校	生物部	2	1	3
富山県	研究発表	生物	富山県立富山中部高等学校	スーパーサイエンス部	2	1	3
京都府	研究発表	生物	京都府立桃山高等学校	グローバルサイエンス部	2	1	3
山口県	ポスター発表	化学	山口県立徳山高等学校	科学部	2	1	3
長崎県	研究発表	生物	長崎県立長崎北陽台高等学校	生物部	2	1	3
長崎県	ポスター発表	生物	長崎県立長崎北陽台高等学校	生物部	2	0	2
大分県	研究発表	地学	大分県立日田高等学校	科学部	2	1	3

<訪問先> 白神山地世界遺産センター（藤里町）

<内 容> 施設見学・講義・説明

<行 程> 12:45 出発 →14:15 白神山地世界遺産センター 到着（施設見学・講義・説明 60
（予定） 分程度）→15:15 白神山地世界遺産センター 出発 →17:00 秋田駅 到着 →
17:30 秋田県生涯学習センター 到着

<服装・持ち物> 筆記用具・飲み物

<バス号車> F号車

<出発時間・乗車場所> 12時45分までにバス乗車場所へ集合してください。

<連絡事項> 帰りは秋田駅または秋田県生涯学習センター駐車場で解散となります。

G 「あきたの森から学ぶ！カーボンニュートラル」

<参加校>

都道府県	発表区分	分野	学校名	部活動名	生徒	引率	合計
秋田県	研究発表	化学	秋田県立大館鳳鳴高等学校	化学部	2	1	3
秋田県	研究発表	化学	秋田県立大館鳳鳴高等学校	化学部	2	0	2
群馬県	研究発表	生物	群馬県立尾瀬高等学校	理科部	2	1	3
和歌山県	ポスター発表	生物	和歌山県立日高高等学校	生物部	2	1	3
広島県	研究発表	化学	広島県立海田高等学校	科学部	1	1	2
高知県	ポスター発表	生物	土佐女子高等学校	生物部	2	1	3
鹿児島県	研究発表	化学	鹿児島県立大島高等学校	化学部	2	1	3

<訪問先> 秋田県林業研究研修センター（秋田市）

<内 容> 施設見学・講義・体験活動

<行 程> 13:15 出発 →13:45 秋田県林業研究研修センター 到着（施設見学・講義・説明
（予定） 120 分程度） →16:15 秋田県林業研究研修センター 出発 →16:45 秋田駅 到着
→17:15 秋田県生涯学習センター 到着

<服装・持ち物> 涼しい服装・飲み物・帽子・雨天時は簡易雨具

<バス号車> G号車

<出発時間・乗車場所> 13 時 15 分までにバス乗車場所へ集合してください。

<連絡事項> 帰りは秋田駅または秋田県生涯学習センター駐車場で解散となります。

H「学んで備える、防災の第一歩」

<参加校>

都道府県	発表区分	分野	学校名	部活動名	生徒	引率	合計
千葉県	研究発表	地学	千葉県立木更津高等学校	地学部	1	1	2
千葉県	研究発表	地学	千葉県立佐原高等学校	天文気象部	1	1	2
神奈川県	研究発表	化学	神奈川県立光陵高等学校	科学部	2	1	3
長野県	研究発表	生物	長野県大町岳陽高等学校	科学部	2	1	3
岐阜県	研究発表	生物	岐阜県立岐阜高等学校	自然科学部生物班	2	1	3
佐賀県	研究発表	地学	佐賀県立佐賀北高等学校	地学部	2	1	3
大分県	研究発表	生物	大分県立大分舞鶴高等学校	科学部生物班	2	1	3

<訪問先> 秋田県防災学習館（由利本荘市）

<内 容> 講義・施設見学・体験活動

<行 程> 13:30 出発 →14:00 秋田県防災学習館 到着（施設見学・講義・体験 60 分程度）
 （予定） →15:15 秋田県防災学習館 出発 →15:30 道の駅岩城 到着（見学・休憩） →
 16:00 道の駅岩城 出発 →16:40 秋田駅 到着 →17:10 秋田県生涯学習センター
 到着

<服装・持ち物> 筆記用具・飲み物

<バス号車> H号車

<出発時間・乗車場所> 13 時 30 分までにバス乗車場所へ集合してください。

<連絡事項> 帰りは秋田駅または秋田県生涯学習センター駐車場で解散となります。

I 「海から広がる食と科学」

<参加校>

都道府県	発表区分	分野	学校名	部活動名	生徒	引率	合計
山形県	研究発表	地学	山形県立致道館高等学校	科学部	2	1	3
新潟県	研究発表	生物	新潟県立海洋高等学校	海洋生物研究部	2	1	3
長野県	研究発表	地学	長野県飯山高等学校	自然科学部	2	1	3
兵庫県	研究発表	生物	姫路市立飾磨高等学校	生物部	2	1	3
鳥取県	研究発表	生物	鳥取県立鳥取東高等学校	自然科学部	1	1	2
福岡県	研究発表	物理	福岡県立宗像高等学校	電気物理部	2	1	3
佐賀県	研究発表	生物	佐賀県立鳥栖高等学校	科学部	2	1	3
長崎県	研究発表	化学	長崎県立長崎南高等学校	科学部	2	1	3
熊本県	研究発表	生物	熊本学園大学付属高等学校	サイエンス部	2	1	3

<訪問先> 秋田県立男鹿海洋高等学校・風と海の学校あきた（男鹿市）

<内 容> 施設見学・体験活動

<行 程> 13:00 出発 →14:00 秋田県立男鹿海洋高等学校・風と海の学校あきた 到着（施設
（予定） 見学・実習 120 分程度） →16:00 秋田県立男鹿海洋高等学校・風と海の学校あ
きた 出発 →17:00 秋田駅 到着 →17:30 秋田県生涯学習センター 到着

<服装・持ち物> 筆記用具・飲み物

<バス号車> I 号車

<出発時間・乗車場所> 13 時 00 分までにバス乗車場所へ集合してください。

<連絡事項> 帰りは秋田駅または秋田県生涯学習センター駐車場で解散となります。

Ｊ「エネルギー安定供給の裏側を学ぶ」

＜参加校＞

都道府県	発表区分	分野	学校名	部活動名	生徒	引率	合計
秋田県	研究発表	化学	秋田県立大館鳳鳴高等学校	化学部	2	1	2
福島県	研究発表	地学	福島県立会津学鳳高等学校	SSH探求部	2	1	3
神奈川県	研究発表	生物	神奈川県立小田原高等学校	科学部	2	1	3
新潟県	研究発表	地学	新潟県立新潟高等学校	物理部	2	1	3
石川県	研究発表	化学	金沢高等学校	科学部	1	1	2
岐阜県	研究発表	物理	岐阜県立多治見高等学校	総合文化部 科学	2	1	3
静岡県	研究発表	化学	浜松日体高等学校	科学研究部	2	1	3
滋賀県	研究発表	物理	滋賀県立膳所高等学校	物理地学班	2	1	3

＜訪問先＞ 秋田石油備蓄株式会社（男鹿市）

＜内 容＞ 基地構内見学

＜行 程＞ 13:15 出発 →14:15 秋田石油備蓄株式会社 到着（見学・説明 60 分程度） →
 （予定） 15:15 秋田石油備蓄株式会社 出発 →16:30 秋田駅 到着 →17:00 秋田県生涯学
 習センター 到着

＜服装・持ち物＞ 筆記用具・飲み物

＜バス号車＞ Ｊ号車

＜出発時間・乗車場所＞ 13 時 15 分までにバス乗車場所へ集合してください。

＜連絡事項＞ 帰りは秋田駅または秋田県生涯学習センター駐車場で解散となります。

K 「星空の旅へ」

<参加校>

都道府県	発表区分	分野	学校名	部活動名	生徒	引率	合計
宮城県	研究発表	地学	宮城県仙台第二高等学校	地学部	2	1	3
秋田県	研究発表	生物	秋田県立秋田高等学校	生物部	2	1	3
茨城県	研究発表	化学	茨城県立並木中等教育学校	科学研究部	1	1	2
茨城県	研究発表	生物	茨城県立並木中等教育学校	科学研究部	1	0	1
群馬県	研究発表	地学	群馬県立太田女子高等学校	理科学研究部	2	1	3
埼玉県	研究発表	物理	埼玉県立浦和第一女子高等学校	物理部	1	1	2
長野県	研究発表	化学	長野県諏訪清陵高等学校	化学部	2	1	3
静岡県	研究発表	物理	静岡県立浜松北高等学校	自然科学部(物理・化学班)	1	1	2
兵庫県	研究発表	物理	兵庫県立姫路東高等学校	科学部物理系研究部	2	1	3
兵庫県	ポスター発表	生物	兵庫県立姫路東高等学校	科学部生物系研究部	2	1	3
島根県	研究発表	化学	島根県立松江南高等学校	科学部	2	1	3
島根県	ポスター発表	物理	島根県立松江南高等学校	科学部	2	0	2
香川県	ポスター発表	物理	香川県立観音寺第一高等学校	電気部	2	1	3
高知県	研究発表	生物	土佐塾高等学校	科学部	2	1	3

<訪問先> 星空探検館スペースア（横手市）

<内 容> 特別プログラム鑑賞

<行 程> 12:45 出発 →14:15 秋田ふるさと村星空探検館スペースア 到着（14:30～15:00 特別プログラム（海竜王モササウルス）鑑賞、15:00～15:30 休憩、15:30～16:00 特別プログラム②（ヒーリングアース）鑑賞） →16:15 秋田ふるさと村星空探検館スペースア 出発 →17:30 秋田駅 到着 →18:00 秋田県生涯学習センター 到着

※会場は貸切ではありません。一般のお客様もいらっしゃいます。特別プログラム①は恐竜に関するプログラム、②は宇宙・星に関するプログラムです。

<服装・持ち物> 飲み物

<バス号車> K号車

<出発時間・乗車場所> 12時45分までにバス乗車場所へ集合してください。

<連絡事項> 帰りは秋田駅または秋田県生涯学習センター駐車場で解散となります。

L「見えない敵から健康を守る」

＜参加校＞

都道府県	発表区分	分野	学校名	部活動名	生徒	引率	合計
秋田県	研究発表	化学	聖霊学園高等学校	自然科学	2	0	2
秋田県	研究発表	生物	聖霊学園高等学校	自然科学	2	1	3
群馬県	研究発表	物理	群馬県立高崎高等学校	物理部	2	1	3
東京都	研究発表	物理	玉川学園高等部	サイエンスクラブ	2	1	3
静岡県	ポスター発表	生物	静岡県立磐田南高等学校	生物部	2	1	3
山口県	研究発表	生物	山口県立山口高等学校	化学・生物部	2	1	3
福岡県	研究発表	地学	福岡県立嘉穂高等学校	サイエンス部	2	1	3
宮崎県	研究発表	生物	宮崎県立宮崎西高等学校	生物部	2	1	3

＜訪問先＞ 秋田県健康環境センター（秋田市）

＜内 容＞ 施設見学・講義

＜行 程＞ 13:30 出発 →13:50 秋田県健康環境センター 到着（施設見学・講義 180 分程（予定） 度） →17:00 終了・解散

＜服装・持ち物＞ 筆記用具・飲み物

＜バス号車＞ L号車

＜出発時間・乗車場所＞ 13 時 30 分までにバス乗車場所へ集合してください。

＜連絡事項＞ 帰りは現地解散となります。（※秋田駅まで徒歩 8 分）

M 「7,000 万年前から始まる大地の物語」

<参加校>

都道府県	発表区分	分野	学校名	部活動名	生徒	引率	合計
北海道	研究発表	物理	北海道札幌啓成高等学校	科学部	2	0	2
北海道	研究発表	地学	北海道札幌啓成高等学校	科学部	2	1	3
秋田県	研究発表	地学	秋田県立秋田高等学校	地学部	2	1	3
神奈川県	ポスター発表	生物	神奈川県立相模原弥栄高等学校	サイエンス部	2	1	3
山梨県	研究発表	物理	山梨県立甲府西高等学校	自然科学部	2	1	3
山梨県	研究発表	生物	山梨県立笛吹高等学校	植物研究部	2	1	3
長野県	ポスター発表	生物	長野県諏訪清陵高等学校	生物部	2	1	3
京都府	研究発表	地学	京都府立南陽高等学校	自然科学部	2	1	3
鹿児島県	研究発表	生物	池田学園池田高等学校	生物応答班	2	1	3
沖縄県	研究発表	生物	沖縄県立開邦高等学校	生物部	2	1	3

<訪問先> 男鹿ジオパーク（地形学習コース）（男鹿市）

<内 容> 野外観察

<行 程> 12:45 出発 →14:15 ジオパーク 到着（野外観察2ヶ所 120分程度） →16:15
（予定） ジオパーク 出発 →17:30 秋田駅 到着 →18:00 秋田県生涯学習センター 到着

<雨天時> バス内での説明

<服装・持ち物> 動きやすく涼しい服装・熱中症対策グッズ（飲み物・冷却剤等）
雨天時は簡易雨具

<バス号車> M号車

<出発時間・乗車場所> 12時45分までにバス乗車場所へ集合してください。

<連絡事項> 帰りは秋田駅または秋田県生涯学習センター駐車場で解散となります。

N「火山と様々な火山地形を楽しもう」

<参加校>

都道府県	発表区分	分野	学校名	部活動名	生徒	引率	合計
岩手県	研究発表	物理	岩手県立盛岡第三高等学校	理数探究コース	2	1	3
宮城県	研究発表	化学	宮城県仙台第二高等学校	化学部	2	1	3
埼玉県	研究発表	地学	埼玉県立川越高等学校	地学部	2	1	3
東京都	ポスター発表	地学	東京都立立川高等学校	天文気象部	2	1	3
石川県	研究発表	生物	石川県立七尾高等学校	SSC	2	1	3
岐阜県	研究発表	地学	岐阜県立加茂高等学校	自然科学部	2	1	3
滋賀県	研究発表	地学	滋賀県立米原高等学校	地学部	2	1	3
兵庫県	研究発表	化学	兵庫県立宝塚北高等学校	化学部	2	1	3
広島県	研究発表	地学	広島県立広高等学校	情報・科学部	2	1	3
徳島県	研究発表	生物	徳島県立城南高等学校	科学部	2	1	3
徳島県	ポスター発表	地学	徳島県立脇町高等学校	探究部	2	1	3
高知県	研究発表	物理	高知県立高知小津高等学校	自然観察グループ	2	1	3

<訪問先> 男鹿ジオパーク（火山学習コース）（男鹿市）

<内 容> 屋外観察

<行 程> 13:00 出発 →14:00 ジオパーク 到着（野外観察3ヶ所 140分程度） →16:20
（予定） ジオパーク 出発 →17:15 秋田駅 到着 →17:45 秋田県生涯学習センター 到着

<雨天時> バス内での説明

<服装・持ち物> 動きやすく涼しい服装・汚れてもよい靴・雨天時は簡易雨具
熱中症対策グッズ（飲み物・冷却剤等）・虫対策グッズ（虫除けスプレー・長ズボン等）

<バス号車> N号車

<出発時間・乗車場所> 13時00分までにバス乗車場所へ集合してください。

<連絡事項> 帰りは秋田駅または秋田県生涯学習センター駐車場で解散となります。

○「湖底から誕生した新生の大地」

<参加校>

都道府県	発表区分	分野	学校名	部活動名	生徒	引率	合計
秋田県	研究発表	地学	秋田県立秋田高等学校	地学部	2	1	2
千葉県	研究発表	化学	千葉県立長狭高等学校	科学部	2	1	3
千葉県	ポスター発表	化学	千葉県立長狭高等学校	科学部	1	0	1
富山県	ポスター発表	生物	富山県立富山東高等学校	科学部	1	1	2
山梨県	研究発表	地学	山梨県立日川高等学校	物理・地学部	2	1	3
滋賀県	ポスター発表	地学	滋賀県立彦根東高等学校	グローバルサイエンス部地学班	2	1	3
和歌山県	研究発表	物理	近畿大学附属和歌山高等学校	科学部	2	1	3
愛媛県	研究発表	物理	愛媛県立松山南高等学校	自然科学部	2	1	3
熊本県	研究発表	物理	熊本県立熊本高等学校	物理部	2	1	3

<訪問先> 男鹿ジオパーク（大潟村学習コース）（大潟村）

<内 容> 施設見学・屋外観察

<行 程> 13:15 出発 →14:00 ジオパーク 到着（野外観察4ヶ所 120分程度） →16:00
（予定） ジオパーク 出発 →17:00 秋田駅 到着 →17:30 秋田県生涯学習センター 到着

<雨天時> 後日掲載

<服装・持ち物> 動きやすく涼しい服装・熱中症対策グッズ（飲み物・冷却剤等）
雨天時は簡易雨具

<バス号車> ○号車

<出発時間・乗車場所> 13時15分までにバス乗車場所へ集合してください。

<連絡事項> 帰りは秋田駅または秋田県生涯学習センター駐車場で解散となります。

P「食と技術の研究現場へ」

<参加校>

都道府県	発表区分	分野	学校名	部活動名	生徒	引率	合計
秋田県	ポスター発表	生物	秋田県立由利高等学校	科学部	2	1	3
山形県	ポスター発表	生物	山形県立加茂水産高等学校	水産生物部	2	1	3
栃木県	ポスター発表	地学	栃木県立日光明峰高等学校	科学部	2	1	3
埼玉県	研究発表	生物	埼玉県立熊谷西高等学校	自然科学部	2	1	3
京都府	研究発表	物理	京都市立京都工学院高等学校	サイエンスクラブ	2	1	3
京都府	研究発表	化学	京都市立京都工学院高等学校	サイエンスクラブ	2	1	3
兵庫県	研究発表	地学	兵庫県立姫路東高等学校	科学部地学系研究部	2	1	3
愛媛県	研究発表	化学	愛媛県立三島高等学校	自然科学部	2	1	3
宮崎県	研究発表	化学	宮崎県立宮崎西高等学校	化学部	2	1	3
宮崎県	研究発表	地学	宮崎県立宮崎西高等学校	化学部	2	0	2

<訪問先> 秋田県総合食品センター・秋田県産業技術センター（秋田市）

<内 容> 施設見学・説明

<行 程> 13:30 出発 →14:00 秋田県産業技術センター 到着（見学・説明 60 分程度）
 （予定） →15:00 秋田県産業技術センター 出発（徒歩） →15:10 秋田県総合食品センター
 到着（見学・説明 60 分程度） →16:15 秋田県総合食品センター 出発 →16:45
 秋田駅 到着 →17:15 秋田県生涯学習センター 到着

<服装・持ち物>（屋内ですが）暑さ対策できる服装・熱中症対策グッズ（飲み物・冷却剤等）

<バス号車> P号車

<出発時間・乗車場所> 13 時 30 分までにバス乗車場所へ集合してください。

<連絡事項> 帰りは秋田駅または秋田県生涯学習センター駐車場で解散となります。

Q 「天気予報の舞台裏へ」

<参加校>

都道府県	発表区分	分野	学校名	部活動名	生徒	引率	合計
岩手県	研究発表	生物	岩手県立盛岡第一高等学校	生物部	2	1	3
岩手県	ポスター発表	生物	岩手県立盛岡第一高等学校	生物部	2	0	2
愛知県	研究発表	化学	名古屋市立向陽高等学校	科学部	2	1	3
和歌山県	研究発表	化学	和歌山県立日高高等学校	科学部	2	1	3
鳥取県	ポスター発表	生物	鳥取県立米子東高等学校	自然科学部	2	1	3
香川県	研究発表	化学	香川県立三本松高等学校	科学部	2	1	3
長崎県	研究発表	物理	長崎県立大村高等学校	理科部	2	1	3
熊本県	研究発表	地学	熊本県立済々黌高等学校	地学部	2	1	3
宮崎県	研究発表	物理	宮崎県立都城泉ヶ丘高等学校	自然科学部物理班	2	1	3
鹿児島県	研究発表	地学	池田学園池田高等学校	科学思考班	2	1	3

<訪問先> 秋田地方気象台（秋田市）

<内 容> 施設見学・講義

<行 程> 13:20 までに秋田県生涯学習センター 3 F 講堂（地学発表会場 A）に集合
 （予定） 13:35 出発（徒歩） → 13:50 秋田地方気象台 到着（見学・説明・講義 180 分程度） → 17:00 秋田地方気象台 出発 → 17:15 秋田駅 到着

<服装・持ち物> 筆記用具・飲み物

<出発時間・乗車場所> 13:30（会場までは徒歩移動です）

<連絡事項> 終了後は現地解散または秋田駅までバスで送迎となる予定です。

R「ダムから学ぶ防災とエネルギー」

<参加校>

都道府県	発表区分	分野	学校名	部活動名	生徒	引率	合計
宮城県	ポスター発表	生物	宮城県本吉響高等学校	科学部	1	1	2
秋田県	研究発表	化学	秋田県立秋田南高等学校	自然科学部	2	1	3
茨城県	研究発表	地学	茨城県立日立第一高等学校	地学部	2	0	2
茨城県	ポスター発表	地学	茨城県立日立第一高等学校	地学部	2	1	3
茨城県	研究発表	物理	茨城県立日立第一高等学校	物理部	2	1	3
東京都	研究発表	化学	東京都立桜修館中等教育学校	科学部	2	1	3
石川県	研究発表	物理	石川県立七尾高等学校	SSC	2	1	3
京都府	ポスター発表	物理	京都府立桃山高等学校	グローバルサイエンス部	2	1	3
宮崎県	ポスター発表	地学	宮崎県立宮崎大宮高等学校	自然科学部	2	1	3

<訪問先> 玉川ダム（仙北市）

<内 容> 施設見学

<行 程> 12:45 出発 → 14:30 玉川ダム 到着（見学・説明 60分程度） → 15:50 玉川ダム（予定） 出発 → 17:40 秋田駅 到着 → 18:10 秋田県生涯学習センター 到着

<服装・持ち物> 筆記用具・飲み物・
必要に応じて上着（見学施設の1ヶ所が気温7℃程）

<バス号車> R号車

<出発時間・乗車場所> 12時45分までにバス乗車場所へ集合してください。

<連絡事項> 帰りは秋田駅または秋田県生涯学習センター駐車場で解散となります。

S「病理の世界へようこそ」

<参加校>

都道府県	発表区分	分野	学校名	部活動名	生徒	引率	合計
北海道	ポスター発表	生物	北海道札幌南高等学校	科学部	2	1	3
秋田県	ポスター発表	生物	秋田県立秋田高等学校	生物部	1	1	1
秋田県	ポスター発表	生物	秋田県立秋田高等学校	生物部	1	0	1
石川県	研究発表	地学	石川県立七尾高等学校	SSC	2	0	2
石川県	ポスター発表	化学	石川県立七尾高等学校	SSC	2	1	3
岐阜県	ポスター発表	生物	岐阜県立大垣北高等学校	自然科学部オオサンショウウオ班	2	1	3
和歌山県	研究発表	地学	智辯学園和歌山高等学校	生物部	2	1	3
広島県	ポスター発表	生物	広島県立祇園北高等学校	科学研究部	2	1	3
福岡県	研究発表	生物	福岡県立東筑高等学校	生物部	2	1	3
熊本県	研究発表	化学	熊本県立済々黉高等学校	化学部	2	1	3
沖縄県	ポスター発表	生物	沖縄県立球陽高等学校	生物部	2	1	3

<訪問先> 株式会社秋田病理組織細胞診研究センター

<内 容> 施設見学・講義

<行 程> 13:15 出発 →13:45 株式会社秋田病理組織細胞診研究センター 到着（見学・説明
（予定） 120 分程度） →16:00 株式会社秋田病理組織細胞診研究センター 出発 →16:30
秋田駅 到着 →17:00 秋田県生涯学習センター 到着

<服装・持ち物> 筆記用具・飲み物・外靴を入れるための袋（スリッパに履き替えます）

<バス号車> S号車

<出発時間・乗車場所> 13 時 15 分までにバス乗車場所へ集合してください。

<連絡事項> 帰りは秋田駅または秋田県生涯学習センター駐車場で解散となります。

T「奇跡の再発見から学ぶ」

<参加校>

都道府県	発表区分	分野	学校名	部活動名	生徒	引率	合計
青森県	研究発表	地学	青森県立青森高等学校	自然科学部	2	0	2
青森県	ポスター発表	化学	青森県立青森高等学校	自然科学部	2	1	3
宮城県	研究発表	生物	宮城県仙台第二高等学校	生物部	1	1	2
秋田県	ポスター発表	生物	秋田県立新屋高等学校	理科学研究部	2	1	3
秋田県	ポスター発表	生物	秋田県立新屋高等学校	理科学研究部	2	0	2
栃木県	研究発表	生物	栃木県立佐野高等学校	科学部	2	1	3
新潟県	ポスター発表	生物	新潟明訓高等学校	生物部	2	1	3
静岡県	研究発表	生物	静岡県立焼津中央高等学校	自然科学部	2	1	3
和歌山県	研究発表	生物	和歌山県立日高高等学校	生物部	2	1	3
島根県	研究発表	生物	島根県立松江北高等学校	自然科学部	1	1	2
島根県	研究発表	地学	島根県立松江北高等学校	自然科学部	2	0	2
広島県	研究発表	生物	広島県立西条農業高等学校	自然科学部	2	1	3
香川県	研究発表	生物	香川県立三本松高等学校	科学部	2	1	3
高知県	研究発表	地学	土佐塾高等学校	天文部	2	1	3

<訪問先> 田沢湖クニマス未来館（仙北市）

<内 容> 施設見学

<行 程> 12:45 出発 → 14:30 田沢湖クニマス未来館 到着（見学・説明 60分程度） →
（予定） 15:50 田沢湖クニマス未来館 出発 → 17:40 秋田駅 到着 → 18:10 秋田県生涯学
習センター 到着

<服装・持ち物> 筆記用具・飲み物

<バス号車> T号車

<出発時間・乗車場所> 12時45分までにバス乗車場所へ集合してください。

<連絡事項> 帰りは秋田駅または秋田県生涯学習センター駐車場で解散となります。

U「太陽と資源で未来を作る」

<参加校>

都道府県	発表区分	分野	学校名	部活動名	生徒	引率	合計
宮城県	研究発表	物理	宮城県仙台二華高等学校	物理部	2	1	3
秋田県	研究発表	物理	秋田県立大館鳳鳴高等学校	物理部	2	1	3
福島県	研究発表	化学	福島県立安積高等学校	化学部	2	1	3
山梨県	ポスター発表	生物	山梨県立巨摩高等学校	自然科学部	2	1	3
広島県	研究発表	物理	広島県立広島国泰寺高等学校	科学部物理班	2	1	3
徳島県	研究発表	物理	徳島県立富岡西高等学校	自然科学部	2	1	3
福岡県	ポスター発表	物理	福岡県立城南高等学校	物理部	2	1	3
佐賀県	研究発表	物理	佐賀県立佐賀西高等学校	サイエンス部	2	1	3

<訪問先> 秋田市総合環境センター（秋田市）

<内 容> 施設見学・説明（屋内外）

<行 程> 13:30 出発 →14:00 秋田市総合環境センター 到着（見学・説明 120 分程度）
 （予定） →16:10 秋田市総合環境センター 出発 →16:40 秋田駅 到着 →17:10 秋田県生涯学習センター 到着

<服装・持ち物> 涼しい服装・飲み物・帽子・雨天時は簡易雨具

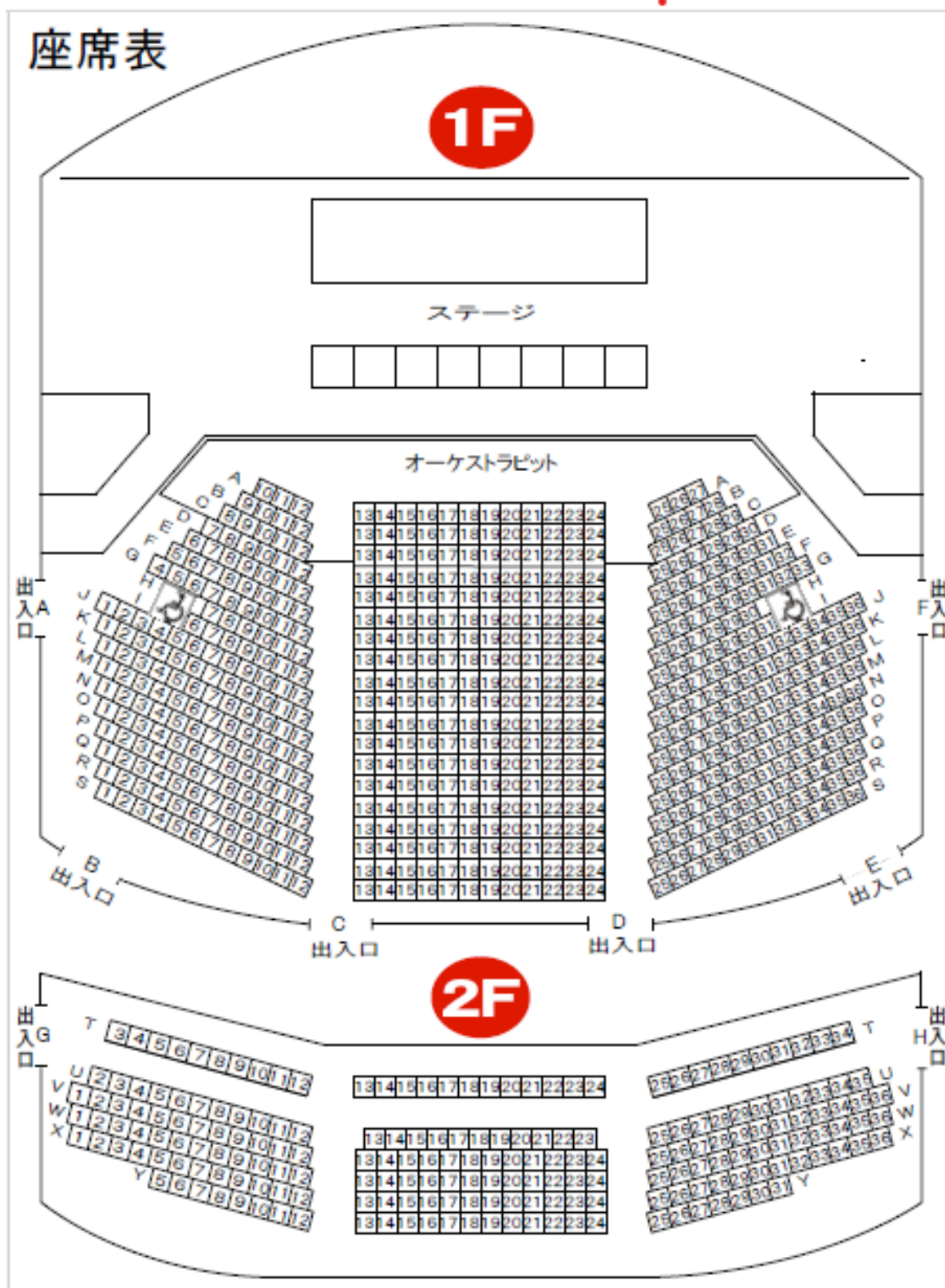
<バス号車> U号車

<出発時間・乗車場所> 13 時 30 分までにバス乗車場所へ集合してください。

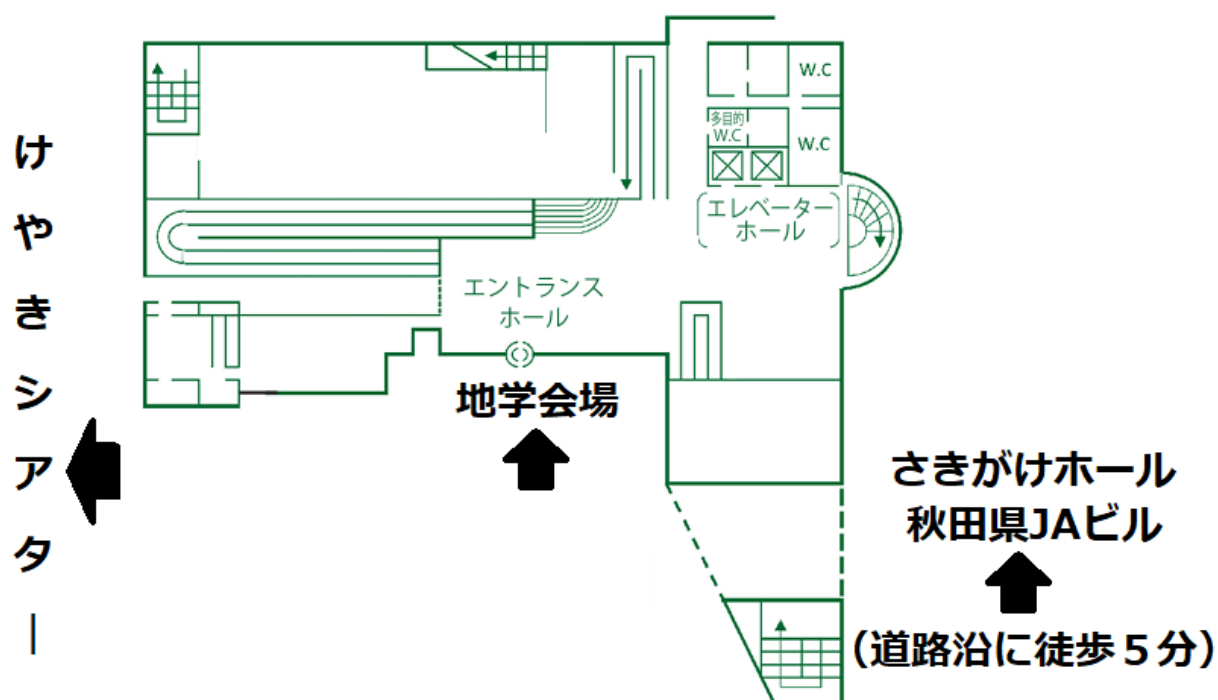
<連絡事項> 帰りは秋田駅または秋田県生涯学習センター駐車場で解散となります。

会場案内図

けやきシアター



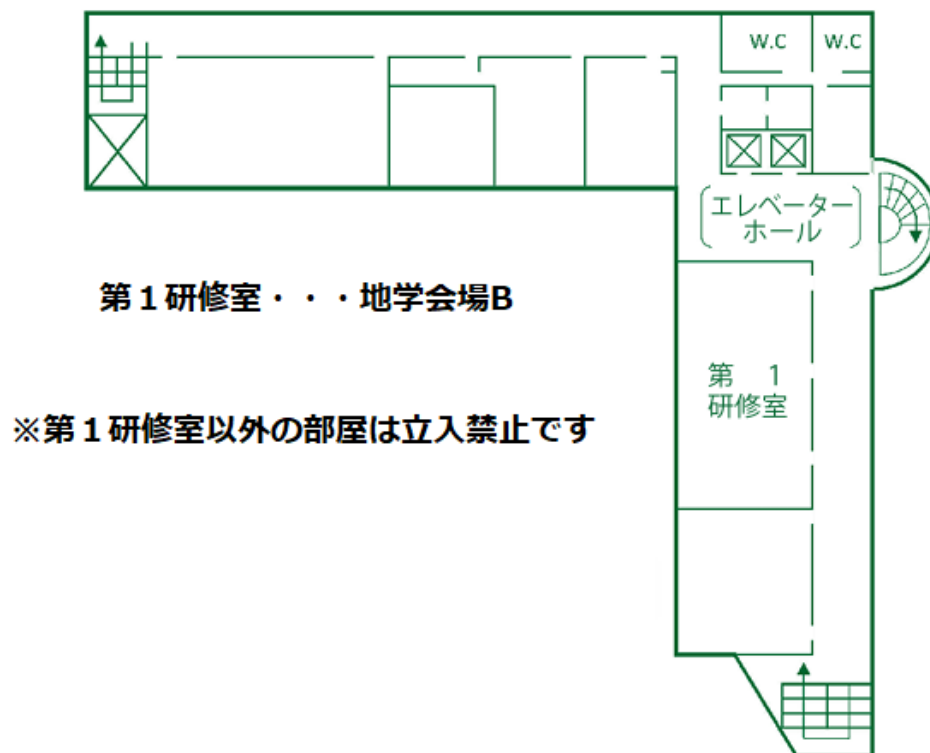
秋田県生涯学習センター 1F



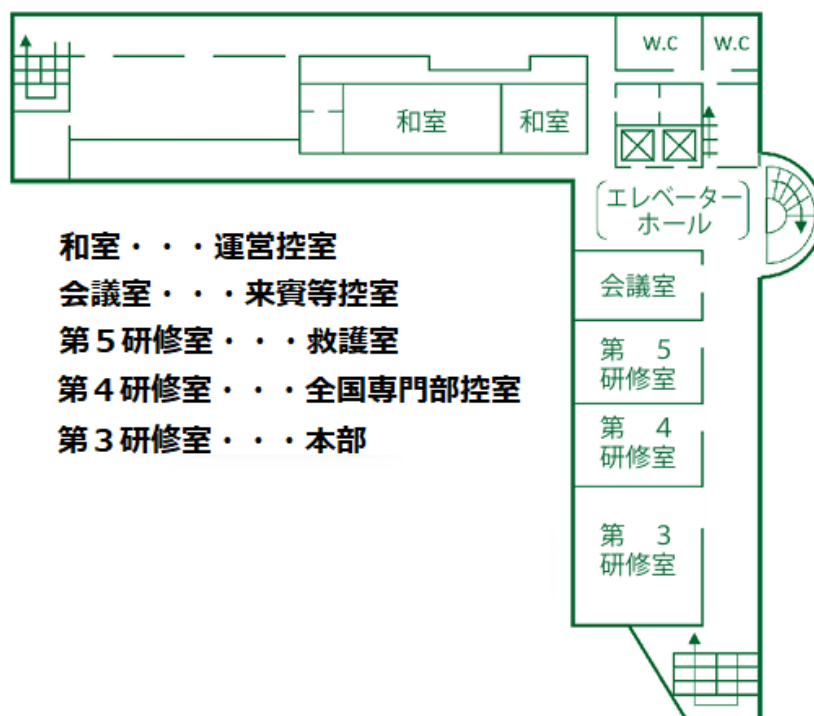
秋田県生涯学習センター 3F



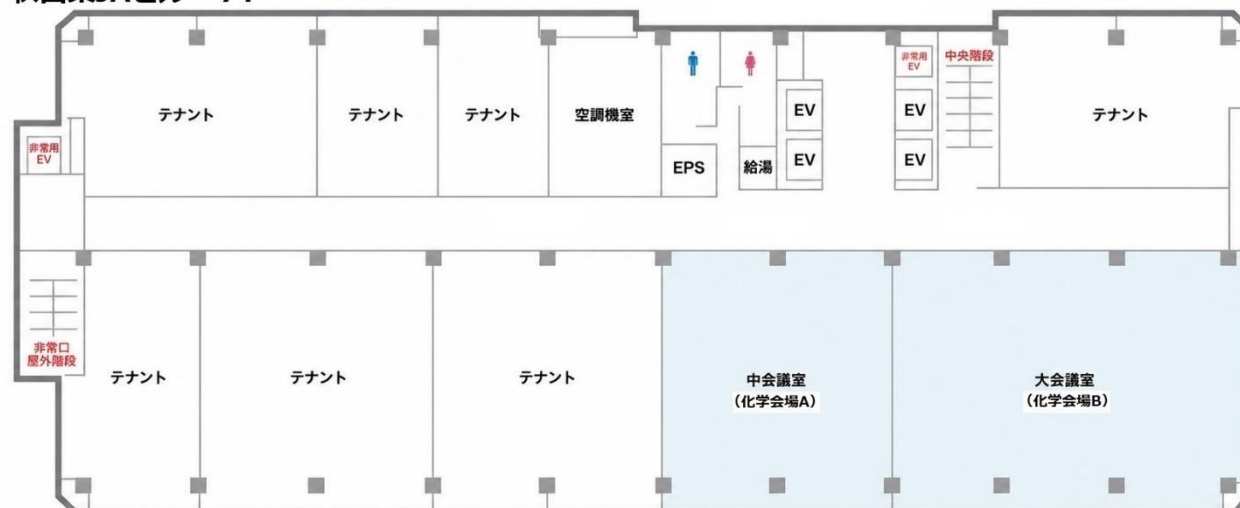
秋田県生涯学習センター 4F



秋田県生涯学習センター 5F



秋田県JAビル 7F



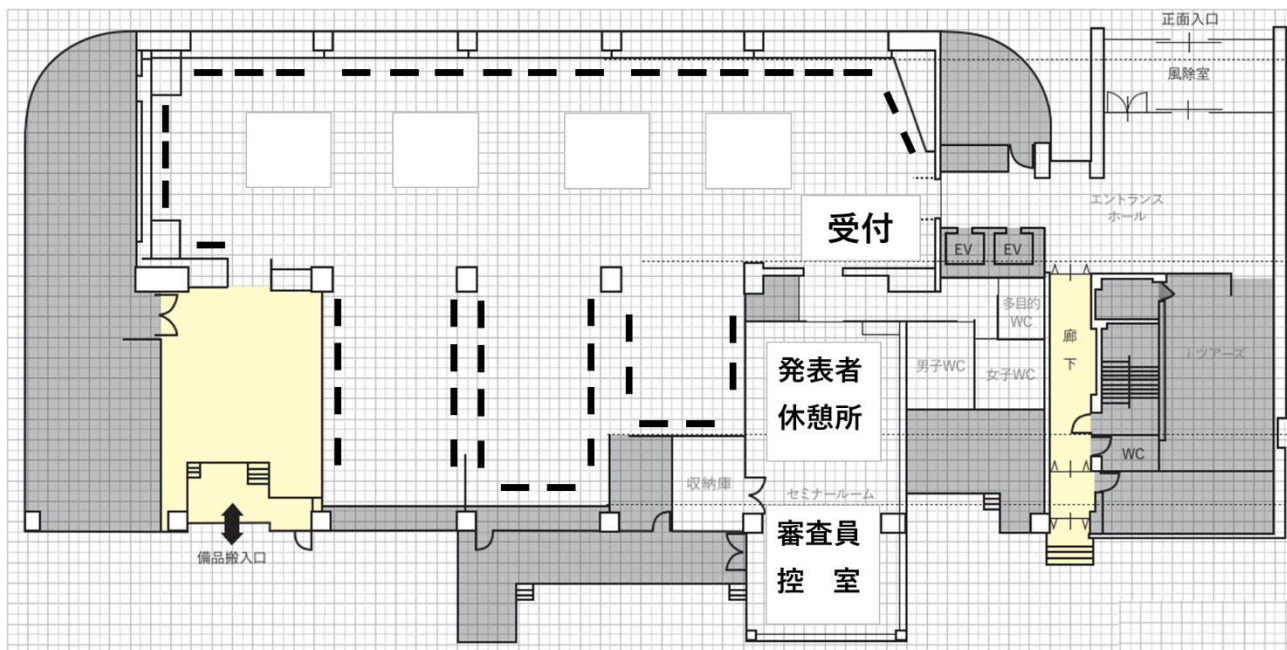
秋田県JAビル 8F



秋田県JAビル 9F



さがけホール



※黒の太線部分がポスターの掲示場所です。詳細な掲示場所は大会当日ご確認ください。

周辺地図



<アクセス> (生涯学習センターまで)

J R 秋田駅から徒歩 50 分。

J R 秋田駅から路線バス秋田中央交通で「県立体育館前」下車。徒歩 3 分。

生涯学習センターとけやきシアターは隣接。

さきがけホールと J A ビルまでは生涯学習センターから徒歩 5 分程度

問い合わせ先

	自然科学部門連絡先	実行委員会事務局
所在地	〒014-0335 秋田県仙北市角館町細越町 3 7	〒010-0951 秋田市山王四丁目 1 番 2 号
名称	秋田県立角館高等学校 第 5 0 回全国高等学校総合文化祭 自然科学部会 代表委員 まきの ひろき 牧野 浩樹	秋田県教育庁高校教育課 全国高等学校総合文化祭推進室内 第 5 0 回全国高等学校総合文化祭 秋田県 実行委員会事務局
連絡先	TEL 0187-54-2560 080-5503-3584 FAX 0187-54-4339 E-mail shizenkagaku@e-akita.ed.jp	TEL 018-860-1433 E-mail kousoubun2026@pref.akita.lg.jp
その他	大会公式ウェブサイト : https://akita-soubun2026.pref.akita.lg.jp/	

緊急時の対応などについて（参加生徒・参加校の皆様へ）

I 大会参加に当たっての留意事項

1 健康（体調）管理に十分気をつけてください。

- ① 大会参加時のマスクの着用は、個人の判断に委ねます。ただし、感染防止対策としてマスクの着用が効果的な場面等や症状がある場合等においては、マスクの着用を推奨します。
- ② 感染症の接触感染を避けるため、屋外から室内へ入る時、トイレの後や食事の前後など、こまめに手を洗い、手指衛生に努めてください。
- ③ 他者に飛沫を飛ばさないよう、咳・くしゃみをする時は、ティッシュ・ハンカチや袖・肘の内側などを使って、口や鼻を押さえ、咳エチケットを行ってください。
- ④ 夏は高温多湿のため、「熱中症」「食中毒」が発生しやすい時期ですので、十分注意してください。
- ⑤ 医療機関での受診費用は実行委員会では負担できません。
なお、マイナンバーカードがない場合は、医療費全額が実費負担となる場合があります。

2 大会参加時のお願い

- ① 引率者は、感染症予防のため、最新の情報を確認の上、移動中や宿舎内等の大会会場外においても、適切な指導を行ってください。
【参考】文部科学省「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル（2023.5.8～）」
https://www.mext.go.jp/a_menu/coronavirus/mext_00029.html
- ② 引率者は、参加生徒の健康状態を把握しておいてください。※特にアレルギー、心臓疾患等の症状などまた、大会期間中は、朝食時等に参加生徒の健康観察を行ってください。
- ③ 体調不良（感染症の疑い等）がある場合は、直ちに引率者に相談の上、医療機関を受診し、適切な対応をとってください。
- ④ 大会期間中に医療機関を受診した場合は、大会公式ウェブサイトの【受診報告フォーム】から必ず報告してください。
- ⑤ 救護所に内服薬は置いていません。日頃服用している常備薬を、必ず持参してください。

3 貴重品・手荷物は自己管理してください。

4 自然災害に備えましょう。

- ① 注意報、警報等の気象情報については、テレビ、ラジオ、携帯電話等で早めに把握してください。
- ② 災害時の安否確認
地震などの大きな災害発生時に、被災地等への安否確認のため、下記のサービスが利用できます。
詳しくは各電話会社に確認してください。
○災害用伝言板サービス（携帯電話） 携帯電話会社各社から提供されています。
○災害用伝言ダイヤル「171」（一般電話、公衆電話、携帯電話）NTTから提供されています。
URL : <https://www.ntt-east.co.jp/saigai/voice171s/goriyou.html>

5 ツキノワグマに注意してください。

- クマに出会わない・鉢合わせを避ける
- もしもクマと出会ってしまったら

声や音で人の存在をアピールする。
ゆっくり後ずさりしてクマとの距離を取る。

背中を見せて走ってはいけません！

近くに建物や車があれば、その中に避難する。

障害物（電柱・塀・木）を挟むように後ずさりする。

- もしもクマに襲われそうになったら

顔と頭を守る（両手を首の後ろで組んで顔を地面に伏せる姿勢をとる）。

来県前に秋田県が公開している動画の視聴及び秋田県公式サイトからツキノワグマ情報を確認することをおすすめします。また、引率者の方は秋田県公式サイトに掲載されているクマダスに登録するなどして、秋田県や開催自治体が発信する情報をこまめにチェックしてください。

- ・ツキノワグマ出前講座動画（生態編） <https://www.youtube.com/watch?v=8bdPijwUBv4>
- ・ツキノワグマ出前講座動画（対策編） <https://www.youtube.com/watch?v=-u454veU0Tk>
- ・美の国あきたネット（秋田県公式サイト） <https://www.pref.akita.lg.jp/pages/archive/23295>

II 緊急時の情報収集

緊急時の大会開催については、大会公式ウェブサイトの「お知らせ」で情報を確認してください。

併せて大会公式SNS（インスタグラム）でも緊急時の情報発信を行います。

迅速な情報取得のため、事前にフォローをお願いいたします。



大会公式ウェブサイト



大会公式インスタグラム

III 開催計画変更時の対応

緊急時、当日の部門大会開催情報は随時更新されますので、大会公式ウェブサイトの「お知らせ」などにより、最新情報を入手してください。

当日の部門大会 開始時刻の繰り 下げの場合	宿舎又は自宅に いる場合	・部門大会開催情報が更新されるまでは、原則として、宿舎又は自宅で待機してください。 ・警報などが解除され、当日の開催を決定した時点で、大会公式ウェブサイト等に掲載しますので、確認してください。
	移動中の場合	原則として、宿舎又は自宅に戻ってください。その際、移動中の状況により、引率者が、戻るか会場に向かうかを判断してください。
	会場にいる場合	部門責任者の指示に従い、行動してください。
当日の部門大会終了時刻の繰り上げ が決定された場合		部門責任者の指示に従い、行動してください。
当日の部門大会が開催中止となった 場合		特に連絡のない限り、宿舎又は自宅で待機してください。開催会場は、原則として、開場しません。

IV 体調不良者やけが人が発生した場合の対応

1 会場における救護

各会場には救護所を設置しています。体調不良やけがをした参加者等に対して応急処置を行います。
なお、医療機関での診療等が必要な場合は、医療機関を案内するほか、緊急を要する場合は、救急車の出動要請を行いますので、引率者は必ず同行してください。

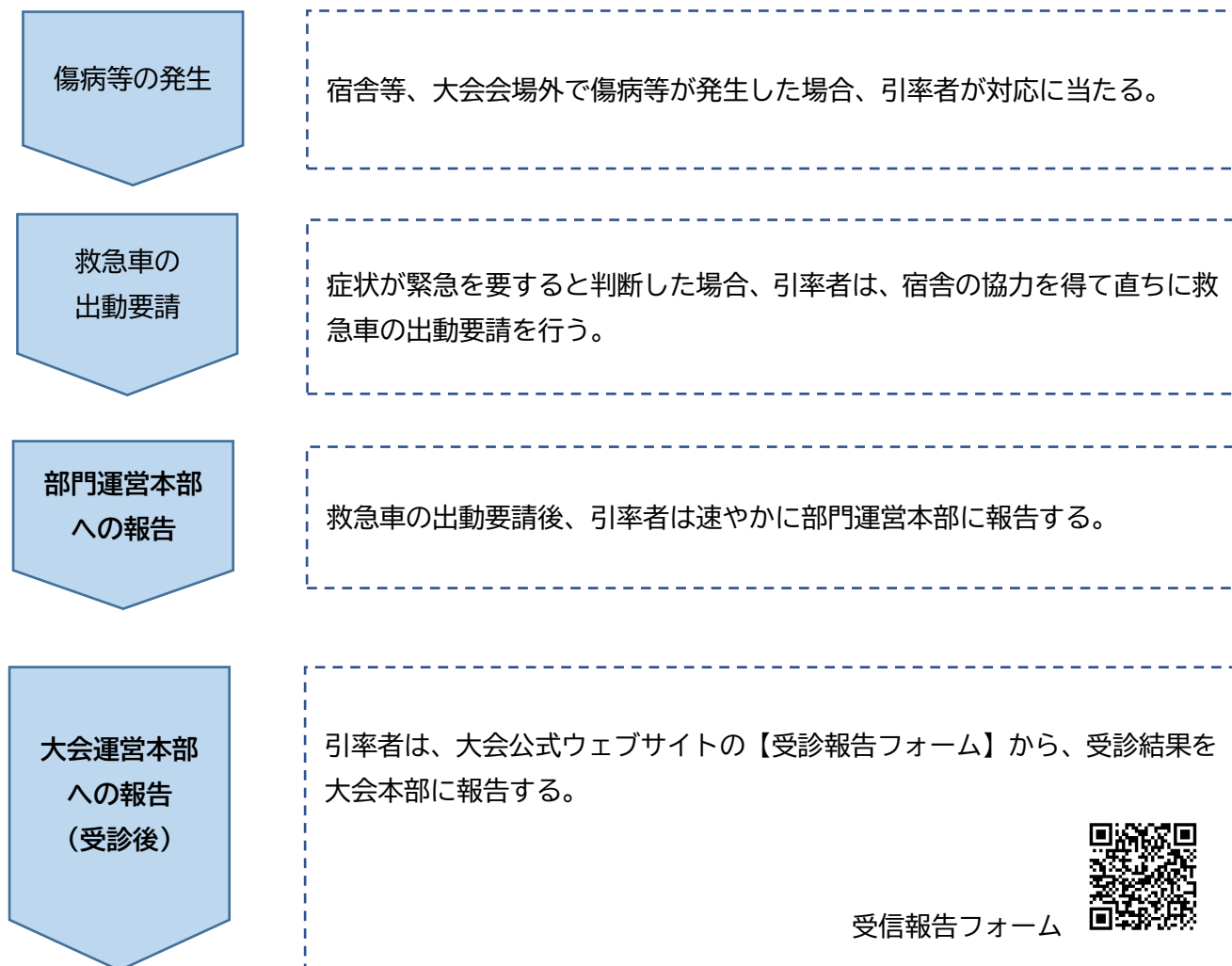
2 宿舎等での対応

宿舎等で傷病者が発生した場合、引率者は必要に応じ、救急車の出動要請や医療機関での受診等を行うようにしてください。いずれの場合も引率者は必ず同行してください。（次頁の「大会会場外における救護対応フローチャート」をご覧ください）

※軽度の傷病を除き、受診後は、大会公式ウェブサイトの【受診報告フォーム】から必ず報告してください。

3 大会会場外における救護対応フローチャート

① 緊急を要する場合



② 緊急を要しない場合

傷病等の発生

宿舎等、大会会場外で傷病等が発生した場合、引率者が対応に当たる。

救急車要請の判断

引率者は、救急車の出動要請を行うか判断する。

医療機関等の確認

救急車の出動要請は必要ないと判断した場合、引率者は、宿舎の協力を得て、医療機関等を確認する。実際に受診する際は、事前に医療機関に受診の可否を確認する。

大会運営本部への報告 (受診後)

引率者は、大会公式ウェブサイトの【受診報告フォーム】から、受診結果を大会運営本部に報告する。

受信報告フォーム



- 受診可能な医療機関等を探すには、「医療情報ネット（ナビイ）」で検索
<https://www.iryuu.teikyouseido.mhlw.go.jp/znk-web/juminkanja/S2300/initialize>

V 不審者、不審物への対応

不審者、不審物を発見した場合は、直ちに近くの運営スタッフにお知らせください。

自身の安全を第一に考えて行動し、不審者に対しては無理に立ち向かおうとせず、危険を感じた場合は大声で助けを呼んでください。

また、不審物には触れないようにお願いします。

VI 緊急連絡先（大会期間中）

自然科学部門運営本部

080-5503-3584

第50回全国高等学校総合文化祭（あきた総文2026）における 個人情報の取扱いについて（参加者の皆さんへ）

第50回全国高等学校総合文化祭（あきた総文2026）への参加申込書を提出された方の個人情報については、次のとおり取扱うことになりますので、御了承ください。

なお、この取扱いは、準備活動、練習、広報PR活動、開催日における運営等、関連行事のすべてが対象となります。

1 個人情報の内容

- (1) 参加者の氏名、学校名、学年、性別
- (2) 競技・審査結果
- (3) 参加者及び展示発表作品の写真、映像等

2 個人情報の利用目的

- (1) プログラム、部門作品集等への掲載
- (2) 実施要領、運営要領等への掲載
- (3) 展示キャプション等への掲載
- (4) 会場内アナウンス等
- (5) 大会公式ウェブサイト、大会公式SNS、記録集、記録DVD等記録関係資料への掲載
- (6) 報道機関等への提供（テレビ、ラジオ、ウェブサイト、新聞、雑誌等に写真や映像が使用されることがあります。）
- (7) 総文祭後催県、地方公共団体等への提供
- (8) WEB開催及びオンライン配信実施時の放映（一部を変更して用いることがあります。）

3 個人情報の適正管理

取得した個人情報を前記に掲げる利用目的以外に使用することはありません。ただし、緊急の場合、医療機関等との間で個人情報を提供又は収集することがあります。

4 その他

- (1) 演奏、演技、展示、競技等の様子について、実行委員会事務局の許可を得た事業者が撮影を行うことがあります。
- (2) 個人情報の取扱いについて御不明な点があれば、実行委員会事務局にお問い合わせください。

<問合せ先>

第50回全国高等学校総合文化祭秋田県実行委員会事務局

（秋田県教育庁高校教育課全国高等学校総合文化祭推進室内）

TEL：018-860-1433 E-mail：kousoubun2026@pref.akita.lg.jp